

令和 7 年度福岡市墓地・納骨堂
需給状況調査の結果について

令和 8 年 2 月

福岡市保健医療局生活衛生部生活衛生課

令和7年度福岡市
墓地・納骨堂需給状況調査の結果について

目 次

第1章	はじめに	1
第2章	福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査	
1	調査概要	5
2	市民アンケートの調査結果・分析	6
第3章	福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査	
1	調査概要	19
2	経営者アンケートの調査結果・分析	20
第4章	福岡市における墓地・納骨堂の需要予測	
1	需要の予測方法	33
2	需要予測結果	33
3	考察	33
第5章	福岡市における墓地・納骨堂の需給状況	
1	墓地の供給量及び今後の利用可能年数	37
2	納骨堂の供給量及び今後の利用可能年数	38
3	需給状況の総括	39
資料編		
1	福岡都市圏資料	43
●	福岡都市圏人口等（住民基本台帳）	43
●	国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口 （令和5（2023）年12月1日現在）』をもとに算出した福岡市の死亡者予測	44
●	福岡都市圏（地図）	45
2	令和7年度 市政に関する意識調査（市民アンケート調査票）	46
3	令和7年度 市政に関する意識調査 集計結果	50
4	令和7年度 福岡市墓地・納骨堂に関するアンケート調査（経営者アンケート調査票）	53
5	令和7年度 福岡市墓地・納骨堂に関するアンケート調査 集計結果	58

第1章 はじめに

墓地は、市民生活にとって必要不可欠な施設である。しかし、一度設置すると永年にわたる管理や宗教的感情と密接なつながりを持つことなどから、ただ単に量的充足が図られればよいというものではなく、適正な配置や周辺的生活環境との調和など公共の福祉との調整が求められる。

また、墓地の利用者は「終のすみか」として墓地の経営が永代にわたり平穩に行われることを望んでおり、こうした利用者の意向が尊重されることが重要である。

もし、墓地経営が破綻した場合、その性質上、墓地を撤去することは容易ではない。墓地経営者が不在のまま放置された墓地は荒廃を招き、利用者に多大な不利益を与えるだけでなく、生活環境を悪化させ公共の福祉が損なわれる恐れがある。このため、墓地経営者には、利用者を尊重した高い倫理性が求められる。

こうしたことから「墓地、埋葬等に関する法律」（昭和23年5月31日 法律第48号）及び同法に係る国通知は、墓地の経営について、公衆衛生の確保にとどまることなく公共の福祉を実現するために、持続性と非営利性の確保を強く求めている。しかし、その取り扱いはずしも画一的に処理し難い問題であり、地域の実情に応じた対応が必要なことから、経営許可の判断については許可権者である都道府県知事（市又は特別区にあっては、市長又は区長）※の法目的に照らした広範な裁量に委ねられており、墓地の経営主体についても、原則として市町村等の地方公共団体とし、これにより難い事情がある場合には、必要とする範囲において宗教法人又は公益法人による墓地の経営を認めるとしている。

福岡市においても、法令等の趣旨を踏まえ、適切な墓地等の経営及び供給を図るにあたり、広域的な需給バランスの把握が必要であることから、令和2年に「福岡市墓地・納骨堂に関するアンケート調査」を行っている。

この度、前回の調査から5年を経過したため、将来の需要予測と最新の需給状況等の把握のために、市民及び経営者に対しアンケート調査を行い、その結果をとりまとめた。

※平成23年度に成立した「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」（平成23年法律第105号。第2次一括法）により、市又は特別区にあっては、市長又は区長が許可権限を有することとなった。なお、福岡県の場合、地方自治法第252条の17の2第1項に基づき、市町村が処理することとされている。

第2章 福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査

第2章 福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査

1 調査概要

(1) アンケートの目的

この調査は、福岡市民の墓地・納骨堂に対する意識調査をすることで需要予測を行い、併せて福岡市及び近郊での墓地・納骨堂の利用実態等を調査することにより、墓地行政の参考にすることを目的として実施した。

(2) 調査時期 : 調査票発送 令和7年6月20日 回収締切 令和7年7月11日

(3) 調査の対象 : 福岡市内に居住する満18歳以上の市民

(4) 調査方法 : 郵送法（回収は郵送またはインターネット）

(5) 調査対象者数 : 4,500 サンプル（回収2,299 サンプル、回収率51.1%）

(6) 回収数 : 郵送 1,738 サンプル
インターネット 561 サンプル

(7) 調査票 : 別添（P46～49）

(8) 調査主体 : 福岡市 市長室 広聴課
（『令和7年度 市政に関する意識調査』調査機関）
福岡市 保健医療局 生活衛生課
（調査テーマ『「墓地・納骨堂」について（問6～14）』担当課）

※本調査は、市政推進上の基礎資料とするため福岡市が実施している『市政に関する意識調査』において、市民に対し墓地・納骨堂に関するアンケート調査を実施した。

令和7年度の『市政に関する意識調査』の詳細については、福岡市のホームページにて掲載している。

2 市民アンケートの調査結果・分析

(1) 標本構成

本調査で有効回収を得た対象者 2,299 人の属性は下表のとおりである。

《性別》

全 体	男 性	女 性	無回答	
2,299	965	1,318	16	上段：実数
100.0	42.0	57.3	0.7	下段：%

《年齢》

全 体	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
2,299	207	269	356	436	369	618	44
100.0	9.0	11.7	15.5	19.0	16.1	26.9	1.9

《居住区》

全 体	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	無回答
2,299	464	304	302	393	174	339	308	15
100.0	20.2	13.2	13.1	17.1	7.6	14.7	13.4	0.7

《福岡市継続居住予定》

全 体	住み続けたい	どちらかといえ ば住み続けたい	どちらかといえ ば移りたい	移りたい	わからない	無回答
2,299	1,638	500	65	18	67	11
100.0	71.2	21.7	2.8	0.8	2.9	0.5

(2) 納骨できるお墓や納骨堂の有無

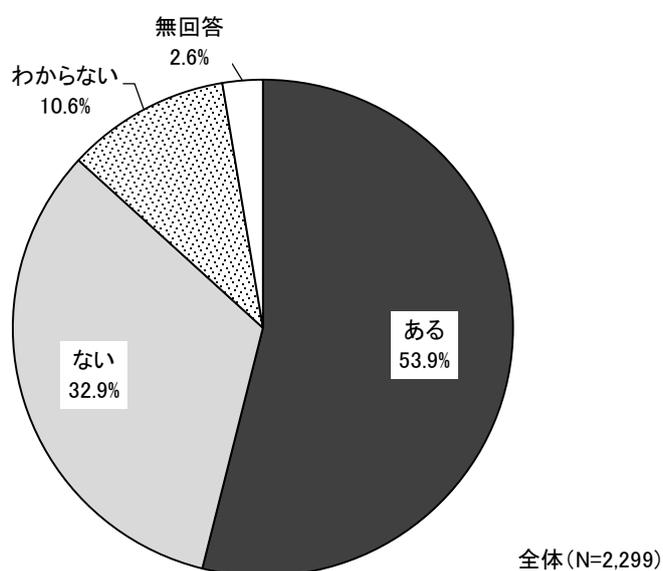
問6 あなたには、現在、あなたが亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂がありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

納骨できるお墓や納骨堂の有無を聞いたところ、「ある」が53.9%と最も多く、次いで「ない」(32.9%)、「わからない」(10.6%)となっている。

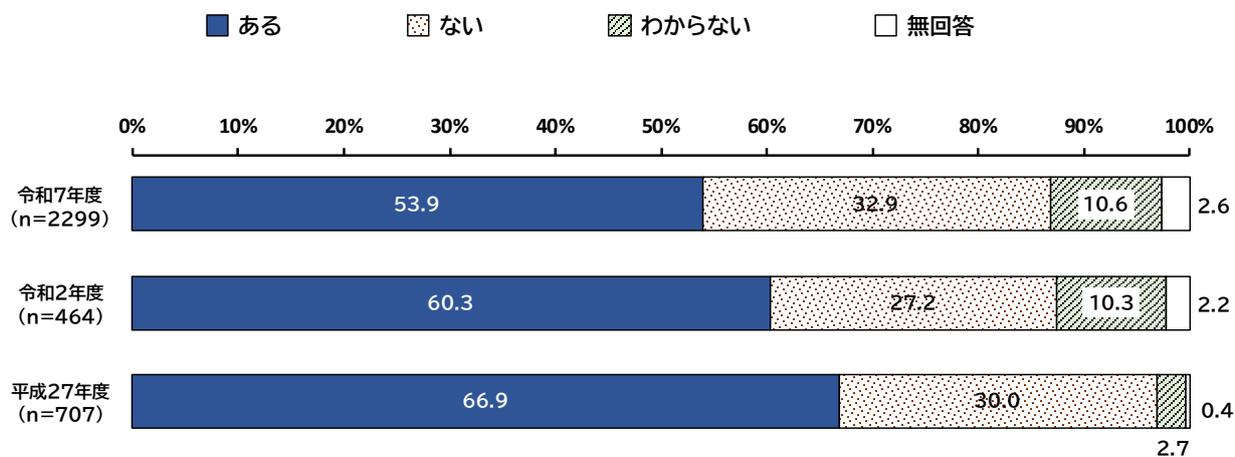
過去の調査と比較すると、「ある」は、平成27年度の66.9%から令和2年度は60.3%、今回の53.9%へと減少している。

図表2-1 納骨できるお墓や納骨堂の有無

【全体】



【過去の調査結果との比較】



※平成27年度については選択肢「ある」は「持っている」、「ない」は「持っていない」となっている。

(3) 納骨できるお墓や納骨堂の種類

問7 << 問6で「1」と回答した方におたずねします。>>

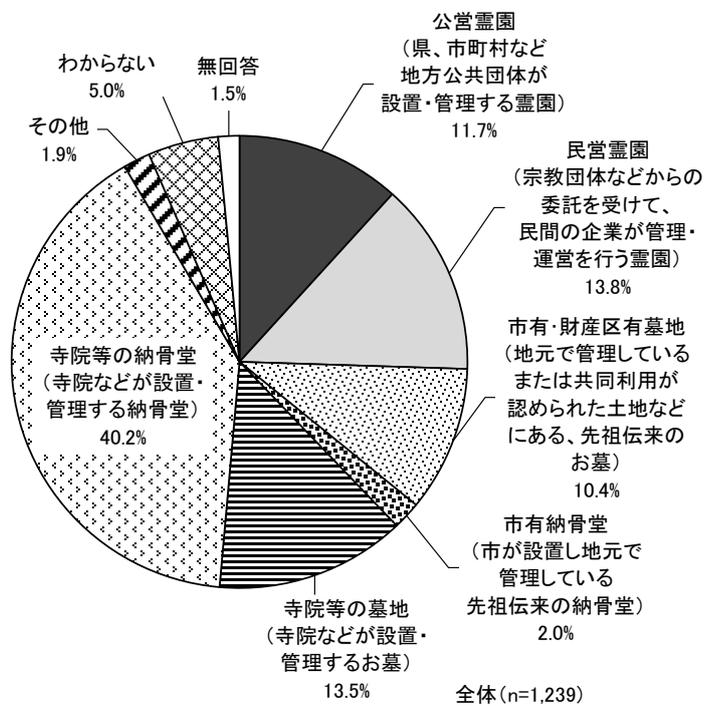
それはどのようなお墓や納骨堂ですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。。

納骨できるお墓や納骨堂の種類を聞いたところ、「寺院等の納骨堂（寺院などが設置・管理する納骨堂）」が40.2%と最も多く、次いで「民営霊園（宗教団体などからの委託を受けて、民間の企業が管理・運営を行う霊園）」（13.8%）、「寺院等の墓地（寺院などが設置・管理するお墓）」（13.5%）となっている。

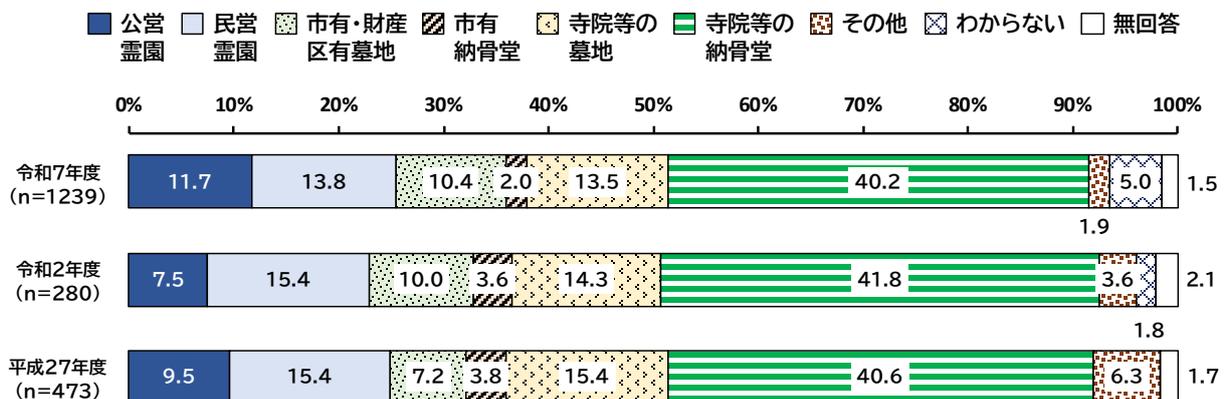
過去の調査と比較すると、「寺院等の納骨堂」が平成27年度以降4割で推移し、最も多くなっており、その他のお墓や納骨堂の割合にも大きな変化はみられない。

図表2-2 納骨できるお墓や納骨堂の種類

【全体】



【過去の調査結果との比較】



※令和2年度から「わからない」を追加している。

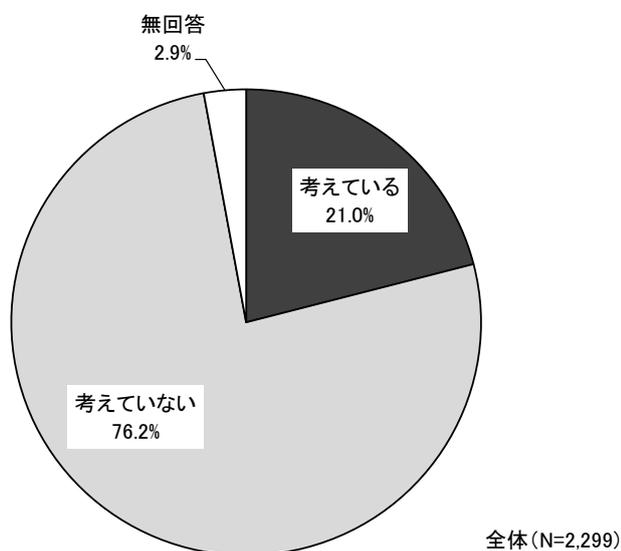
(4) 新たなお墓や納骨堂の取得意向

問8 あなたは、新たにお墓や納骨堂の取得を考えていますか（時期は関係なく）。あてはまるものを1つだけ選んでください。

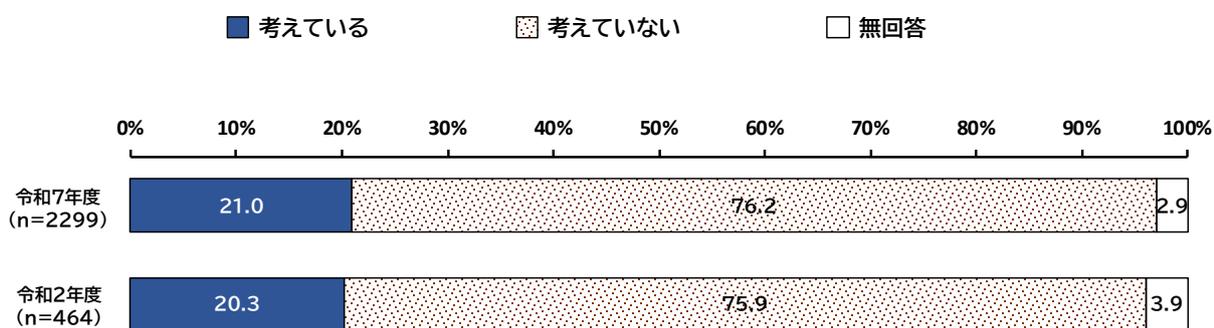
新たなお墓や納骨堂の取得意向を聞いたところ、「考えている」が21.0%、「考えていない」が76.2%となっている。

過去の調査と比較すると、「考えている」は、令和2年度が20.3%、今回が21.0%と同水準で推移している。

図表2-3 新たなお墓や納骨堂の取得意向
【全体】



【過去の調査結果との比較】



(5) お墓や納骨堂を取得する際、重視すること

問9 << 問8で「1」と回答した方におたずねします。>>
 新たにお墓や納骨堂の取得を考えている理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

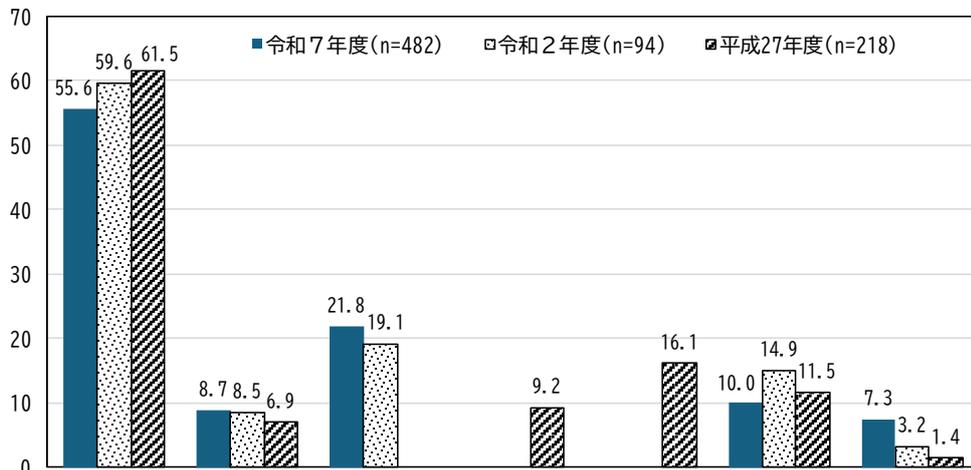
新たなお墓や納骨堂の取得理由を聞いたところ、「現在利用できるお墓や納骨堂がないから」が55.6%と最も多く、次いで「遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから」(21.8%)、「その他」(10.0%)となっている。

性別にみると、男性では「遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから」26.5%であるが、女性では18.5%と、男性よりも8.0ポイント少なくなっている。

年代別にみると、30代以下で「現在利用できるお墓や納骨堂がないから」が6割台と多くなっている。

過去の調査と比較すると、「現在利用できるお墓や納骨堂がないから」が、平成27年度の61.5%から令和2年度は59.6%、今回は55.6%となっており、平成27年度に比べて5.9ポイント減少している。

(%) 図表2-4 お墓や納骨堂を取得する際、重視すること



		現在利用できるお墓や納骨堂がないから	現在利用できるお墓や納骨堂に入りたくないから	遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから	現在利用できるお墓や納骨堂がないから	遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから	その他	無回答	
令和7年度(n=482)		55.6	8.7	21.8			10.0	7.3	
令和2年度(n=94)		59.6	8.5	19.1			14.9	3.2	
平成27年度(n=218)		61.5	6.9		9.2	16.1	11.5	1.4	
令和7年度	性別								
	男性(n=204)	56.9	7.4	26.5			7.4	5.4	
	女性(n=275)	54.2	9.8	18.5			12.0	8.7	
	年代別	18~29歳(n=15)	66.7	13.3	13.3			6.7	6.7
		30代(n=41)	68.3	4.9	17.1			4.9	7.3
		40代(n=71)	54.9	9.9	25.4			9.9	2.8
		50代(n=105)	53.3	10.5	27.6			10.5	1.9
60代(n=91)	57.1	6.6	25.3			12.1	2.2		
70歳以上(n=153)	52.3	9.2	17.0			9.8	15.0		

※選択肢「現在利用できるお墓や納骨堂がないから」は、平成27年度では「現在、遺骨があるが、利用できるお墓や納骨堂がないため」と「現在利用できるお墓や納骨堂がないから、将来のことを考えて」の2つの選択肢の回答を足し合わせている。

※選択肢「遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから」は、令和2年度から追加した。

※選択肢「現在利用できるお墓や納骨堂に入りたくないから」「遠方にある遺骨を福岡市内に移したいから」は、平成27年度のみ。

※平成27年度は2つまで回答。

(6) 新たなお墓や納骨堂の取得時に重視すること

問10 << 問8で「1」と回答した方におたずねします。>>

お墓や納骨堂を取得する場合、重視することは何ですか。特にあてはまるものを2つまで選んでください。

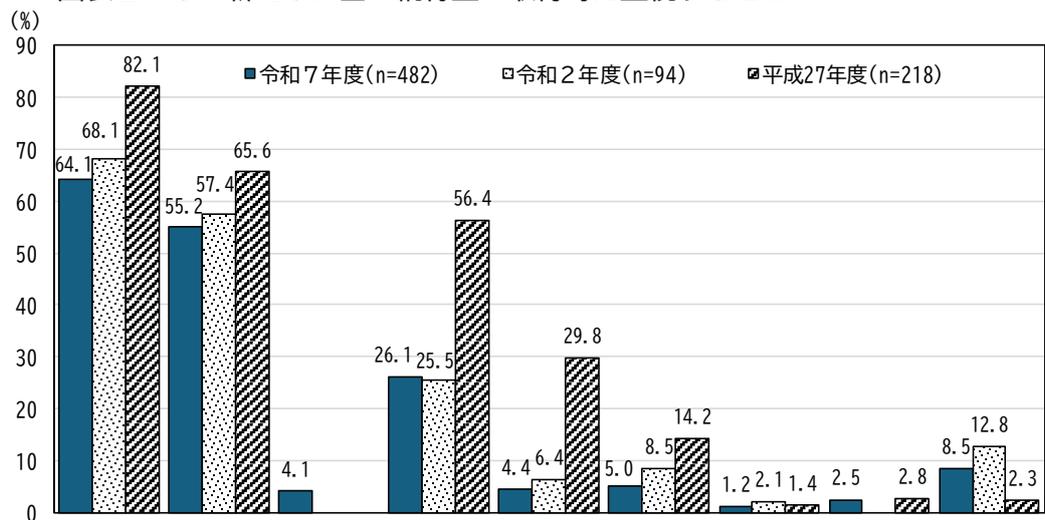
新たなお墓や納骨堂の取得時に重視することを聞いたところ、「費用（取得費や管理費）」が64.1%と最も多く、次いで「自宅からの距離や交通利便性」（55.2%）、「管理や運営の形態」（26.1%）となっている。

性別にみると、「費用（取得費や管理費）」は男性よりも女性の方が、「管理や運営の形態」は女性よりも男性の方が5ポイント以上多くなっている。

年代別にみると、60代では費用（取得費や管理費）」が7割台、18～29歳と60代では「自宅からの距離や交通利便性」が6割台と多くなっている。

過去の調査と比較すると、「費用（取得費や管理費）」、「自宅からの距離や交通利便性」は平成27年度以降減少している。また、「管理や運営の形態」も平成27年度の56.4%から今回は26.1%と、半分以上になっている。

図表2-5 新たなお墓や納骨堂の取得時に重視すること



		費用（取得費や管理費）	自宅からの距離や交通利便性	出身地・実家に近いこと	管理や運営の形態	周囲の環境	宗派や宗旨	その他	特になし	無回答
令和7年度(n=482)		64.1	55.2	4.1	26.1	4.4	5.0	1.2	2.5	8.5
令和2年度(n=94)		68.1	57.4		25.5	6.4	8.5	2.1		12.8
平成27年度(n=218)		82.1	65.6		56.4	29.8	14.2	1.4	2.8	2.3
令和7年度	性別									
	男性(n=204)	60.3	52.9	4.9	29.4	4.4	5.9	2.5	2.5	6.9
	女性(n=275)	66.5	56.4	3.6	24.0	4.4	4.4	0.4	2.5	9.8
	年代									
	18～29歳(n=15)	53.3	66.7	6.7	6.7	6.7	-	-	6.7	6.7
	30代(n=41)	68.3	41.5	4.9	39.0	9.8	-	-	7.3	4.9
	40代(n=71)	63.4	54.9	2.8	32.4	2.8	8.5	-	1.4	8.5
50代(n=105)	64.8	57.1	6.7	28.6	3.8	3.8	1.9	1.0	7.6	
60代(n=91)	71.4	63.7	3.3	25.3	2.2	8.8	1.1	1.1	5.5	
70歳以上(n=153)	60.1	51.6	3.3	20.9	5.2	3.9	2.0	2.6	11.8	

※図表上の「-」については、0.0を表す。

※選択肢「特になし」は令和2年度では提示せず、平成27年度は「特にこだわらない」となっている。

※選択肢「出身地・実家に近いこと」は、今回調査から追加した。

※平成27年は回答数制限なし。

(7) 新たに希望するお墓や納骨堂の希望形態

問11 << 問8で「1」と回答した方におたずねします。>>
 どのようなお墓や納骨堂を希望しますか。あてはまるものをすべて選んでください。

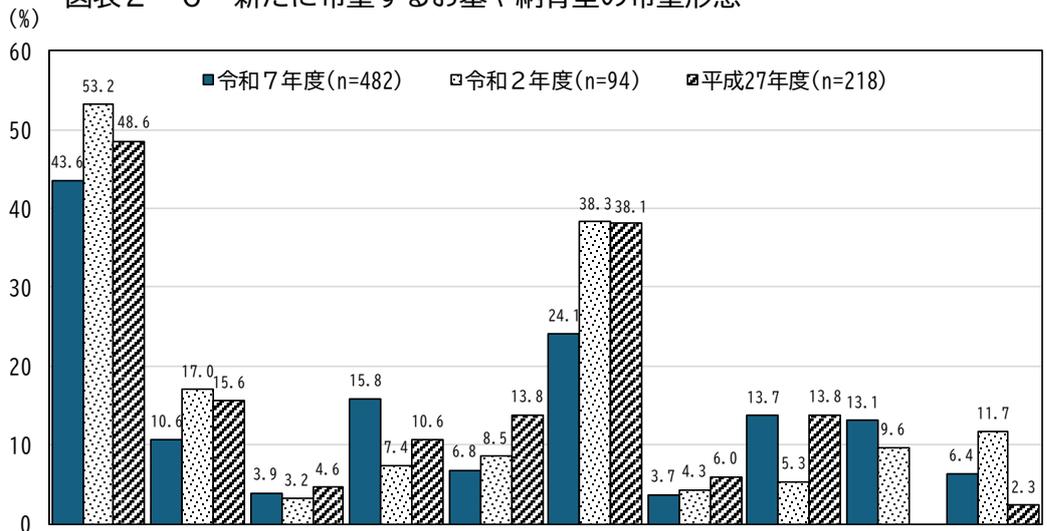
新たに希望するお墓や納骨堂の種類を聞いたところ、「公営霊園（県、市町村など地方公共団体が設置・管理する霊園）」が43.6%と最も多く、次いで「寺院等の納骨堂（寺院などが設置・管理する納骨堂）」（24.1%）、「市有納骨堂（市が設置し地元で管理している先祖伝来の納骨堂）」（15.8%）となっている。

性別にみると、「公営霊園」、「寺院等の納骨堂」は、男性の方が女性よりも7ポイント以上多くなっている。

年代別にみると、30代で「公営霊園」が26.8%と少なくなっている。

過去の調査と比較すると、最も多い「公営霊園」、次いで多い「寺院等の納骨堂」は平成27年度に比べて減少しているが、「市有納骨堂」は増加している。

図表2-6 新たに希望するお墓や納骨堂の希望形態



		公営霊園	民営霊園	市有・財産区有墓地	市有納骨堂	寺院等の墓地	寺院等の納骨堂	その他	特にこだわらない	わからない	無回答
令和7年度(n=482)		43.6	10.6	3.9	15.8	6.8	24.1	3.7	13.7	13.1	6.4
令和2年度(n=94)		53.2	17.0	3.2	7.4	8.5	38.3	4.3	5.3	9.6	11.7
平成27年度(n=218)		48.6	15.6	4.6	10.6	13.8	38.1	6.0	13.8		2.3
令和7年度	性別										
	男性(n=204)	47.5	14.2	3.9	19.6	9.3	28.4	2.9	13.2	9.8	4.4
	女性(n=275)	40.4	8.0	3.6	13.1	5.1	21.1	4.4	13.8	15.6	8.0
	年代										
	18~29歳(n=15)	46.7	-	-	6.7	13.3	13.3	-	6.7	33.3	13.3
	30代(n=41)	26.8	12.2	4.9	7.3	7.3	19.5	-	19.5	24.4	4.9
	40代(n=71)	39.4	8.5	4.2	12.7	14.1	26.8	2.8	25.4	9.9	4.2
50代(n=105)	42.9	18.1	4.8	13.3	5.7	22.9	5.7	10.5	17.1	6.7	
60代(n=91)	48.4	13.2	1.1	15.4	6.6	24.2	5.5	17.6	9.9	2.2	
70歳以上(n=153)	47.7	5.9	5.2	22.9	3.9	26.1	2.6	7.2	7.8	9.8	

※図表上の「-」については、0.0 を表す。
 ※選択肢「わからない」は令和2年度から追加した。

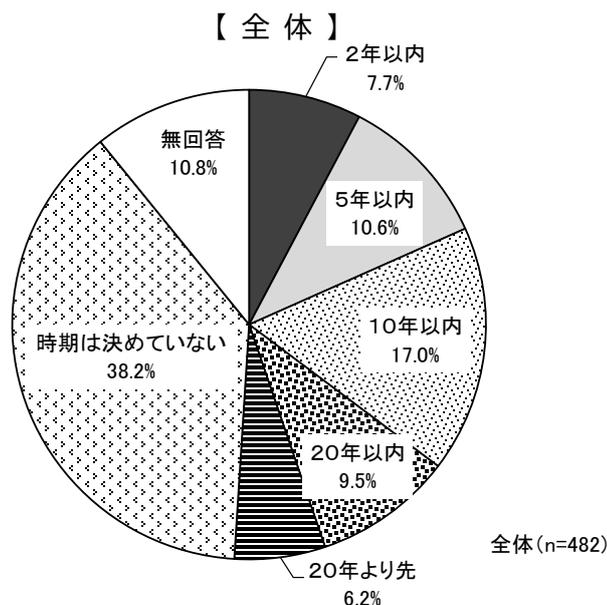
(8) 新たなお墓や納骨堂の取得時期

問12 << 問8で「1」と回答した方におたずねします。>>

お墓や納骨堂の取得はいつ頃を検討していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

新たなお墓や納骨堂の取得時期を聞いたところ、「時期は決めていない」が38.2%と最も多く、次いで「10年以内」(17.0%)、「5年以内」(10.6%)となっている。

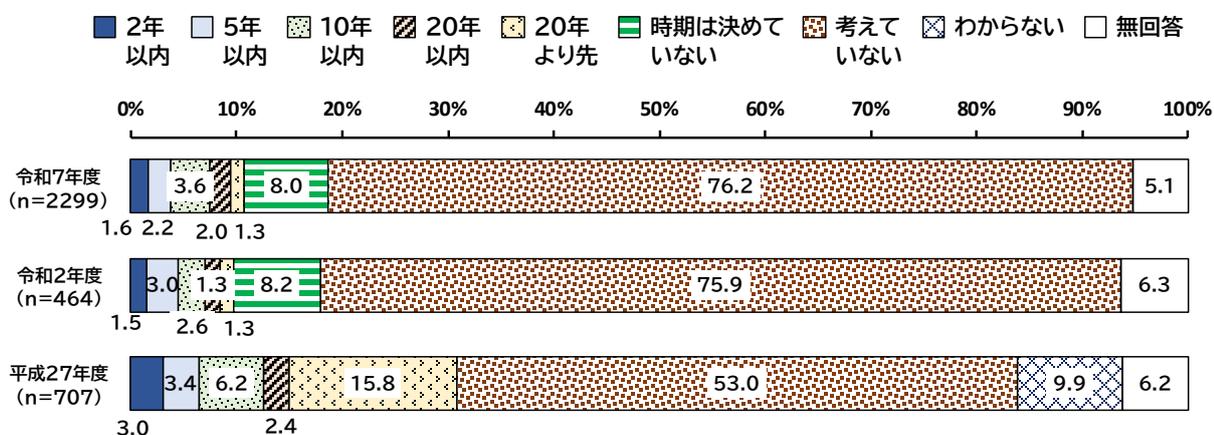
図表2-7 新たなお墓や納骨堂の取得時期（取得意向のある人を対象）



また、各年度回答のあった全サンプルを対象として、取得時期をみたのが下図である。

過去の調査と比較すると、10年以内に取得意向のある割合（「2年以内」+「5年以内」+「10年以内」）は、平成27年度は12.6%、令和2年度は7.1%、今回が7.4%、平成27年度よりも少ないが、令和2年度と同水準となっている。

図表2-8 過去の調査結果との比較（全サンプルを対象とした）



※選択肢「時期は決めてない」は令和2年度から追加した。

※選択肢「考えてない」は、平成27年度では「取得は特に考えてない」となっている。

※選択肢「わからない」は、平成27年度のみ。

(9) 現在お墓や納骨堂について感じている問題

問13 あなたは、現在お墓や納骨堂について何か問題を感じていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

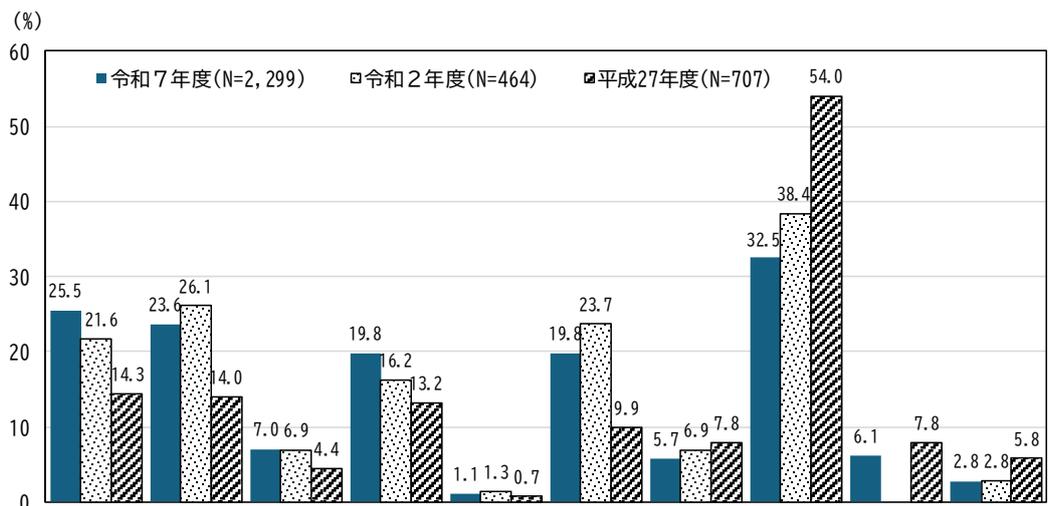
現在お墓や納骨堂について感じている問題を聞いたところ、「問題を感じていない」が32.5%と最も多く、次いで「お墓や納骨堂の承継者がいない」(25.5%)、「取得費や管理費が高い」(23.6%)となっている。

性別にみると、大きな差はみられない。

年代別にみると、18～29歳と70歳以上で「問題を感じていない」が4割台、40～60代で「お墓や納骨堂の承継者がいない」が3割台と他の年代に比べて多くなっている。

過去の調査と比較すると、「問題を感じていない」が平成27年度の54.0%から今回の32.5%に大幅に減少している。逆に、平成27年度よりも増加しているのは、「お墓や納骨堂の承継者がいない」、「取得費や管理費が高い」、「お墓や納骨堂の管理が難しい」、「漠然とした不安がある」である。

図表2-9 現在お墓や納骨堂について感じている問題



		承継者がいない	取得費や管理費が高い	今あるお墓や納骨堂の管理が難しい	お墓や納骨堂の管理が難しい	お墓や納骨堂の管理が難しい	漠然とした不安がある	その他	問題を感じていない	現在利用できないお墓や納骨堂がない	無回答
令和7年度(N=2,299)		25.5	23.6	7.0	19.8	1.1	19.8	5.7	32.5	6.1	2.8
令和2年度(N=464)		21.6	26.1	6.9	16.2	1.3	23.7	6.9	38.4		2.8
平成27年度(N=707)		14.3	14.0	4.4	13.2	0.7	9.9	7.8	54.0	7.8	5.8
令和7年度	性別										
	男性(n=965)	27.2	22.2	3.7	18.0	1.6	18.0	4.1	35.1	6.5	2.9
	女性(n=1,318)	24.4	24.6	9.5	21.2	0.8	21.2	7.0	30.6	5.8	2.6
	年代										
	18～29歳(n=207)	15.5	19.8	3.4	19.8	1.0	15.5	2.4	47.8	7.2	1.4
	30代(n=269)	20.1	28.6	5.6	26.4	2.2	21.2	5.9	34.9	8.2	1.5
	40代(n=356)	30.3	28.4	8.1	26.1	0.6	21.6	5.1	23.0	7.6	1.4
50代(n=436)	31.9	28.7	12.4	22.9	1.6	24.8	8.0	24.5	4.6	0.9	
60代(n=369)	30.4	24.7	7.6	20.6	0.5	24.1	6.2	26.8	5.1	2.2	
70歳以上(n=618)	20.7	15.5	4.5	10.4	1.0	14.1	5.5	40.6	5.8	6.0	

※選択肢「取得費や管理費が高い」は、平成27年度では「墓地・墓石の値段が高い」と「納骨堂の値段が高い」の2つの選択肢の回答を足し合わせている。

※選択肢「現在利用できるお墓や納骨堂がない」は、令和2年度では提示していない。

(10) 将来、希望する埋葬等の供養の方法

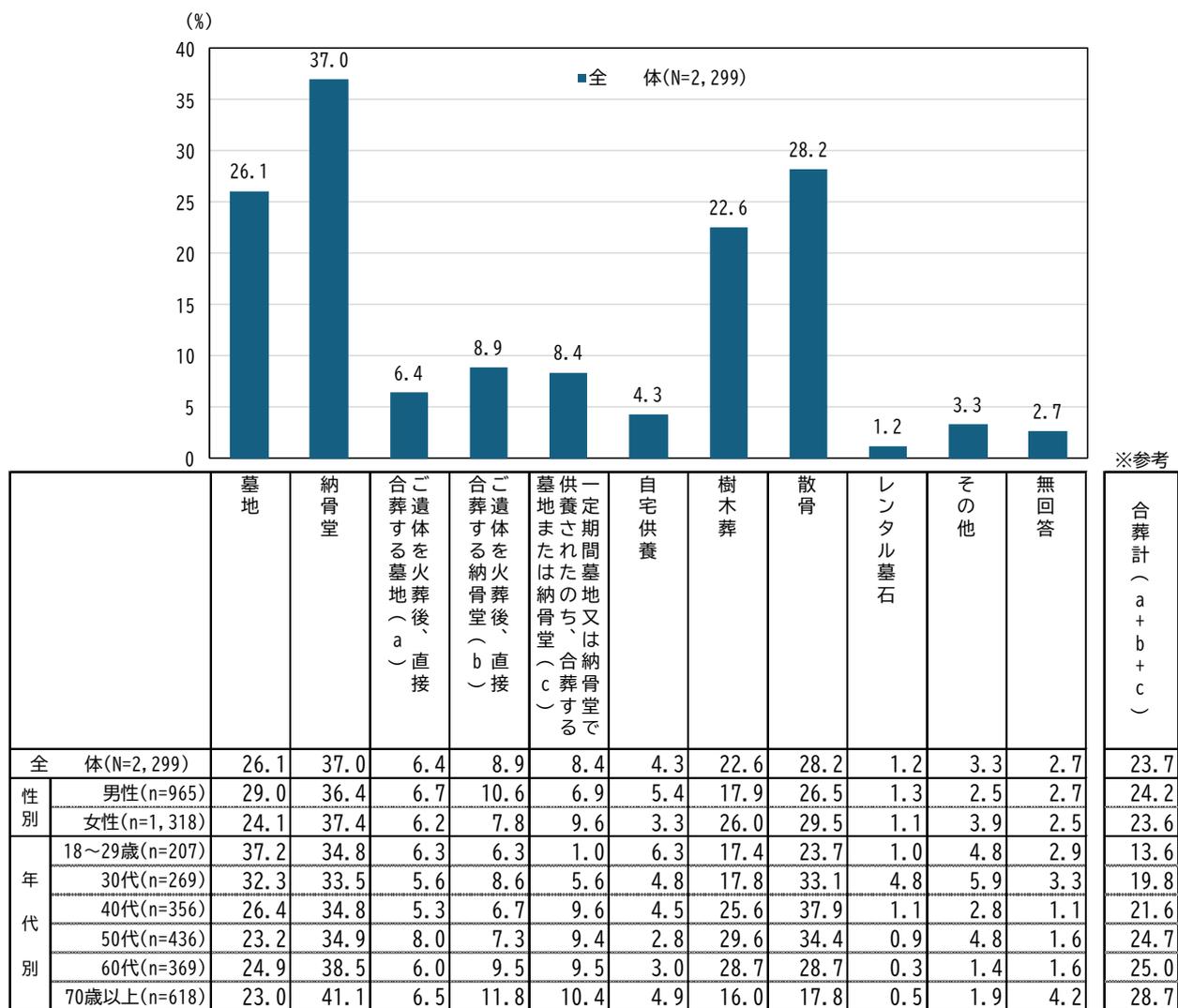
問14 将来、あなたが亡くなった場合、埋葬等の供養の方法はどのような形式のものを希望しますか。
 あてはまるものをすべて選んでください。

将来、希望する埋葬等の供養の方法を聞いたところ、「納骨堂」が37.0%と最も多く、次いで「散骨」(28.2%)、「墓地」(26.1%)となっている。また、『合葬』に係る選択肢 a~c の回答率を合計すると、23.7%あり、「納骨堂」、「散骨」、「墓地」に次いで多くなっている。

性別にみると、女性では「樹木葬」が26.0%と男性(17.9%)に比べて多くなっている。

年代別にみると、年代が高くなるほど『合葬』は多くなっている。

図表2-10 将来、希望する埋葬等の供養の方法



第3章 福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査

第3章 福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査

1 調査概要

(1) アンケートの目的

この調査は、福岡市で墓地・納骨堂を経営する法人及び本市と生活圏を共にする近郊の市町において一定規模以上の墓地・納骨堂を経営する法人を対象に、供給実態等を確認し、福岡市の墓地行政の参考とすることを目的として実施した。

(2) 調査時期

調査票発送 令和7年8月1日 回収締切 令和7年9月5日

(3) 調査の対象

総発送数 399団体

《発送団体の内訳》

●福岡市内において墓地・納骨堂を経営する271団体

市内で許可を受けて経営する団体。平尾霊園・三日月山霊園・西部霊園の3ヶ所の区画数を加算し集計を行った。

●福岡市近郊（※）において墓地・納骨堂を経営する128団体

福岡市近郊において・墓地を経営する団体とは、300区画若しくは1,000㎡以上の営業規模を持つもの、または納骨堂100壇以上の経営規模を持つもの。但し、自治体が経営するものを除く。

※福岡市近郊の市町（以下を市外と記す）とは、生活圏を共にする地域で、本市から交通機関を用いて概ね1時間程度で到達できる市町を言う。

（対象市町）

- ・筑紫地区：筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川市
- ・宗像地区：宗像市・福津市
- ・粕屋地区：古賀市・宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・久山町・粕屋町
- ・糸島地区：糸島市

(4) 調査方法

郵送により送付・回収

(5) 調査票

別添（P53～57）

(6) 回収数

・発送数 399 ・有効回収数(サンプル数) 206 ・有効回収率 51.6%

(7) 集計・分析

株式会社 東京商工リサーチ 福岡支社

2 経営者アンケートの調査結果・分析

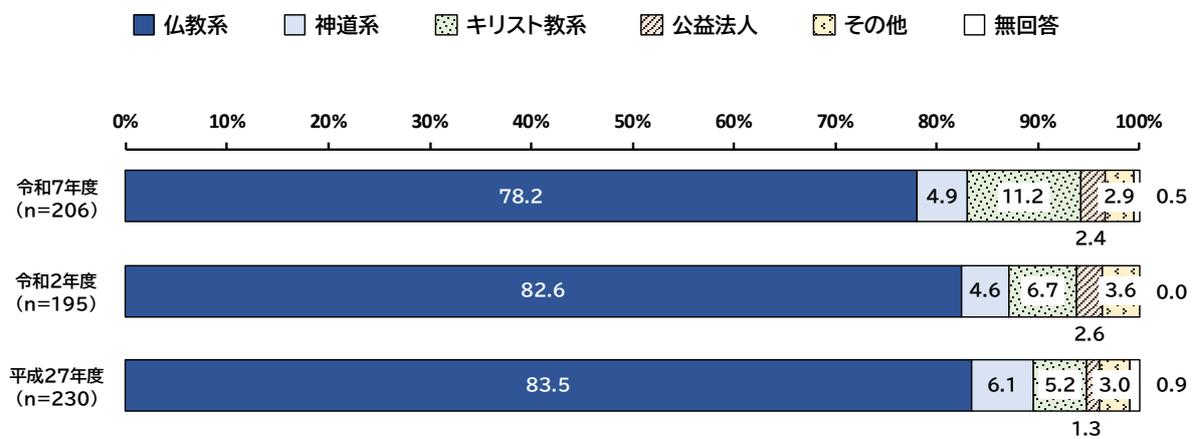
(1) 団体の種類と所在地

① 団体の種別

問1. 貴団体は次のどれにあてはまりますか。

団体の種別をみると、「仏教系」が78.2%と最も多くなっている。次いで「キリスト教系」(11.2%)、「神道系」(4.9%)、「その他」(2.9%)、「公益法人」(2.4%)となっている。
過去の調査結果と比較すると、「仏教系」が減少し、「キリスト教系」が増加している。

図表3-1 団体の種別

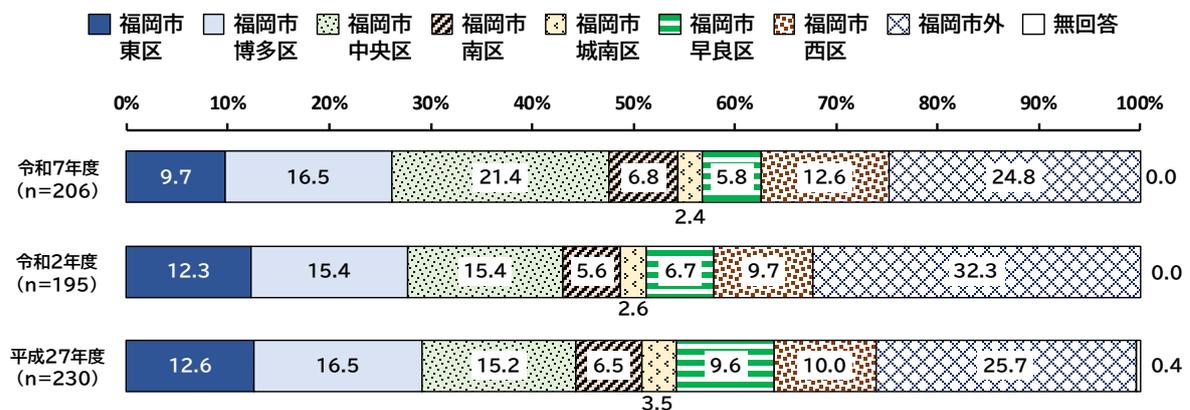


② 団体の所在地

問2. 貴団体の主たる事務所の所在地はどこですか。

法人の主たる事務所の所在地をみると、「福岡市外」が24.8%と最も多くなっている。次いで「福岡市中央区」(21.4%)、「福岡市博多区」(16.5%)、「福岡市西区」(12.6%)となっている。
過去の調査と比較すると、「福岡市中央区」が増加傾向にあり、「福岡市東区」が減少傾向にある。

図表3-2 団体の所在地



(2) 墓地に関する事項

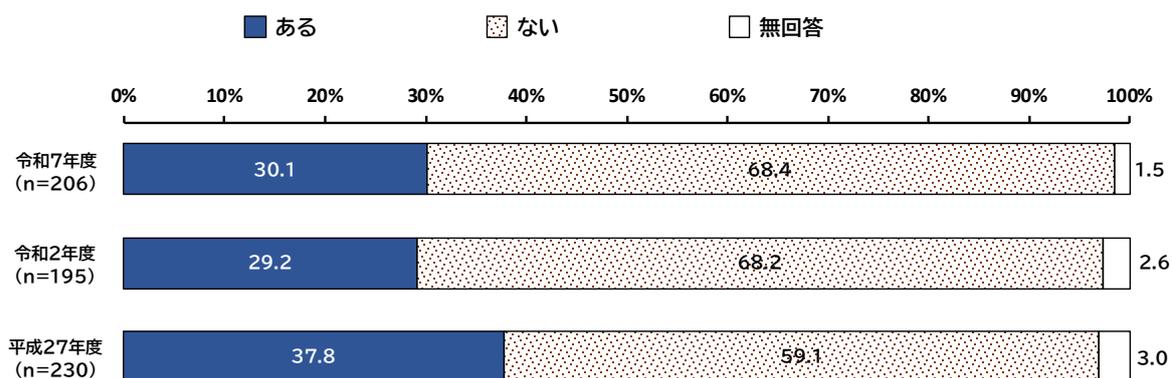
① 墓地（霊園を含む。）の有無

問3. 貴団体所有の墓地（霊園を含む。以下同じ。）はありますか。

法人の墓地の所有状況を見ると、「ある」が30.1%、「ない」が68.4%となっている。

過去の調査と比較すると、平成27年度（以下、「前々回」という。）から令和2年度（以下、「前回」という。）にかけて、「ある」が減少したが、前回と令和7年度（以下、「今回」という。）は同水準で推移している。

図表3-3 墓地の有無



② 墓地の所在地（墓地を所有している団体）

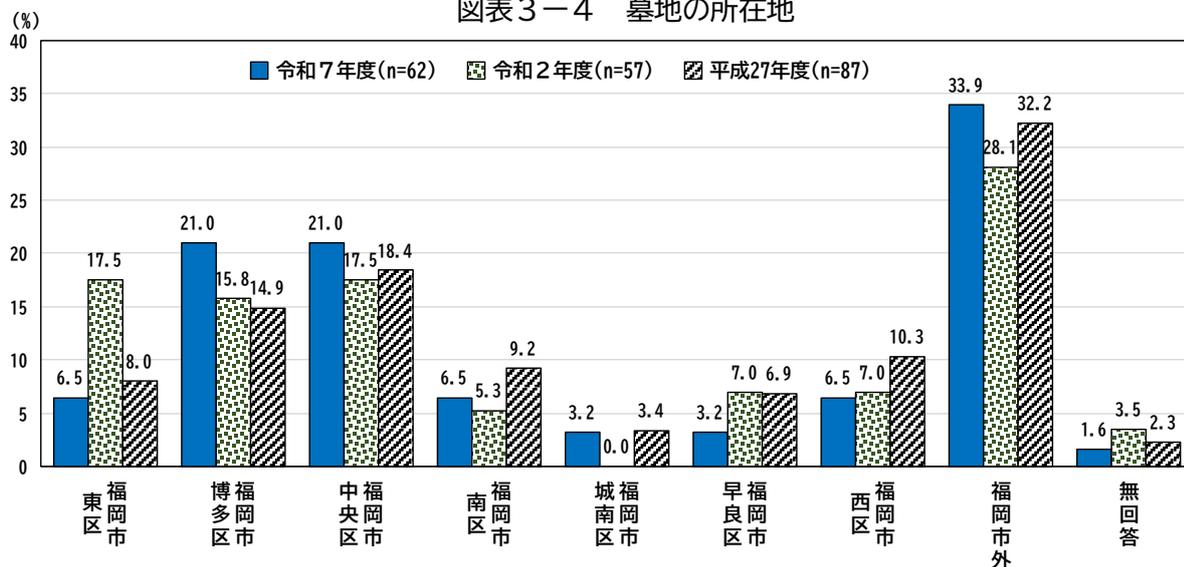
問3-1. その墓地はどこにありますか。

（複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。）

団体が所有している墓地の所在地を見ると、「福岡市外」が33.9%と最も多くなっている。次いで「福岡市博多区」と「福岡市中央区」が各21.0%となっている。

過去の調査と比較すると、「福岡市外」、「福岡市博多区」、「福岡市中央区」は令和2年度からの増加が大きく、逆に、「福岡市東区」は減少が大きくなっている。

図表3-4 墓地の所在地



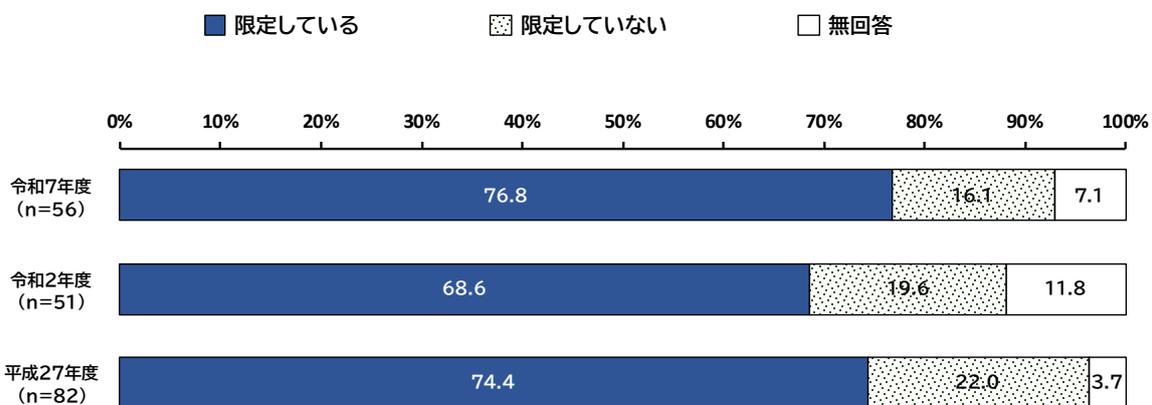
③ 宗教団体における墓地利用者の限定（墓地を所有している宗教団体）

問3-2. 宗教団体の方におたずねします。
 （宗教団体以外の方は、問3-3へお進みください。）
 墓地利用者は、檀家（自宗派）に限定していますか。

墓地を所有している宗教団体において、墓地の利用者を檀家（自宗派）に限定しているかどうかをみると、「限定している」が76.8%、「限定していない」が16.1%となっている。

過去の調査と比較すると、前々回から前回にかけて「限定している」は減少したが、前回から今回にかけては増加し、前々回とほぼ同程度となっている。

図表3-5 墓地利用者の限定



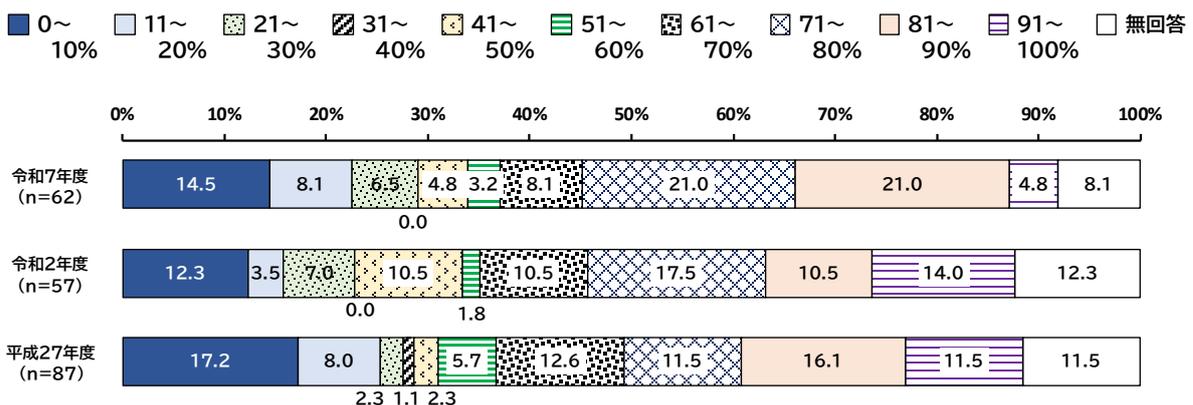
④ 墓地利用者のうち福岡市内居住者の割合（墓地を所有している団体）

問3-3. 墓地利用者のうち、福岡市内居住者の割合はおよそどのくらいですか。

墓地利用者のうち、福岡市内居住者の割合をみると、「71~80%」と「81~90%」が各21.0%と最も多く、71%以上の割合は、合計46.8%となっている。

過去からの調査と比較すると、71%以上の割合が前々回39.1%、前回42.0%、今回46.8%と増加傾向にあり、今回はほぼ半数を占めるようになっている。

図表3-6 墓地利用者のうち福岡市内居住者の割合



⑤ 墓地の区画数（墓地を所有している団体）

問3-4. 墓地は全部で何区画ありますか。
 （墓地が複数ある場合は合計の区画数をご記入ください。）

墓地を所有する62団体のうち、55団体から具体的な区画数の回答が得られ、供給される墓地の区画合計数は78,715区画となっている。平均値は1,431.2区画、中央値は120区画となっている。また、最小値は1区画、最大値は20,000区画となっている。1,000区画以上の大規模墓地を所有するのは9団体で、具体的な区画数の回答が得られた55団体に占める割合は16.4%となっている。

大規模墓地を持つ団体は、2割弱となっているが、所有する区画数の合計は73,324区画と全体の93.2%を占め、福岡都市圏における墓地の供給は大規模墓地によりそのほとんどが供給されていることがわかる。

⑥ 墓地の種類別区画数（墓地を所有している団体）

問3-4-1. 墓地区画のうち、次の墓地はそれぞれ何区画ありますか。

墓地を所有する62団体における無縁墓地、未使用墓地、合祀用墓地の区画数及び市民が利用する考えられる区画数は、以下のようになっている。

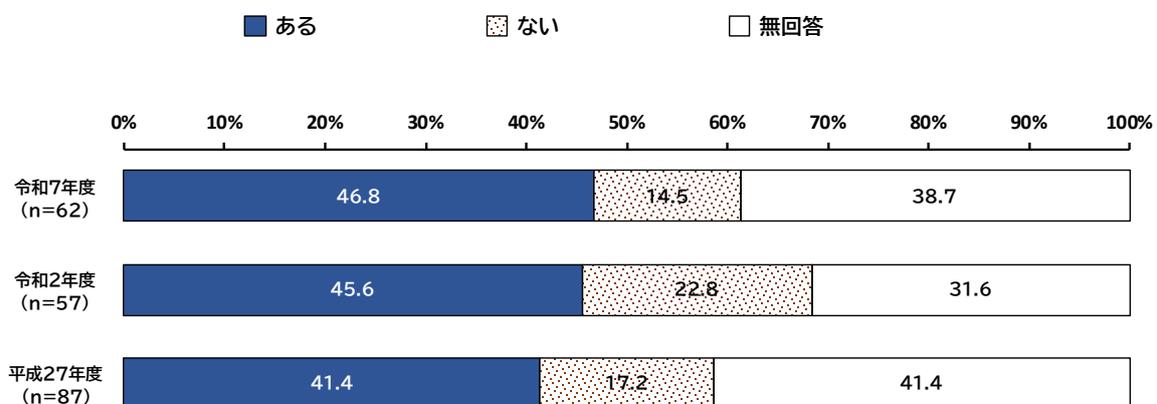
《無縁墓地》

墓地を所有する62団体のうち38団体から具体的な区画数の回答が得られ、そのうち無縁墓地を1区画以上所有しているのはうち29団体である。

無縁墓地を1区画以上所有する29団体の無縁墓地の区画合計数は570区画となっている。平均値は19.7区画、中央値は7区画となっている。また、最小値は1区画、最大値は200区画となっている。

問3-4で得られた墓地の区画合計数78,715に占める無縁墓地率は0.7%となっている。

図表3-7 無縁墓地の有無



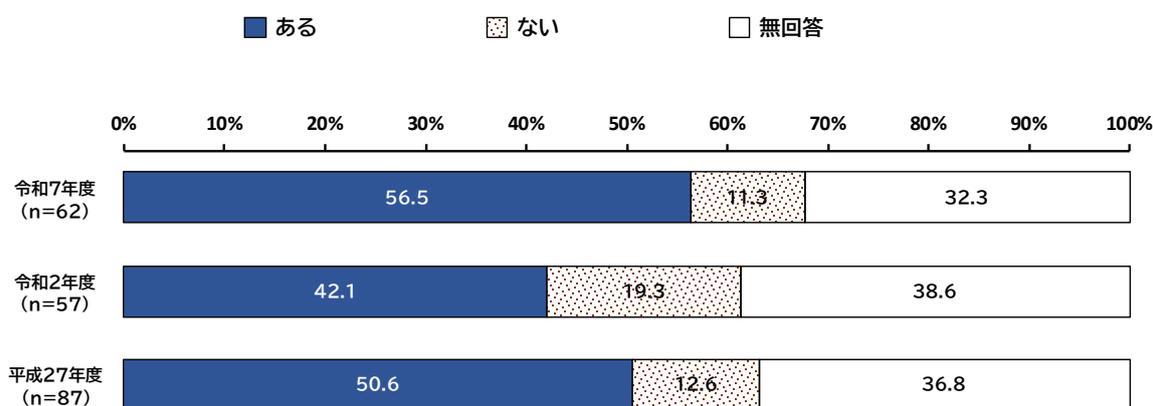
《未使用墓地》

墓地を所有する 62 団体のうち 42 団体から具体的な区画数の回答が得られ、そのうち未使用墓地を 1 区画以上所有しているのはうち 35 団体である。

未使用墓地を 1 区画以上所有する 35 団体の未使用墓地の区画合計数は 15,977 区画となっている。平均値は 456.5 区画、中央値は 36 区画となっている。また、最小値は 1 区画、最大値は 5,000 区画となっている。

未使用墓地 15,977 と無縁墓地 570 の合計 16,547 区画が供給能力と考えられ、問 3-4 で得られた墓地の区画合計 78,715 に占める割合は 21.0%となっている。

図表 3-8 未使用墓地の有無

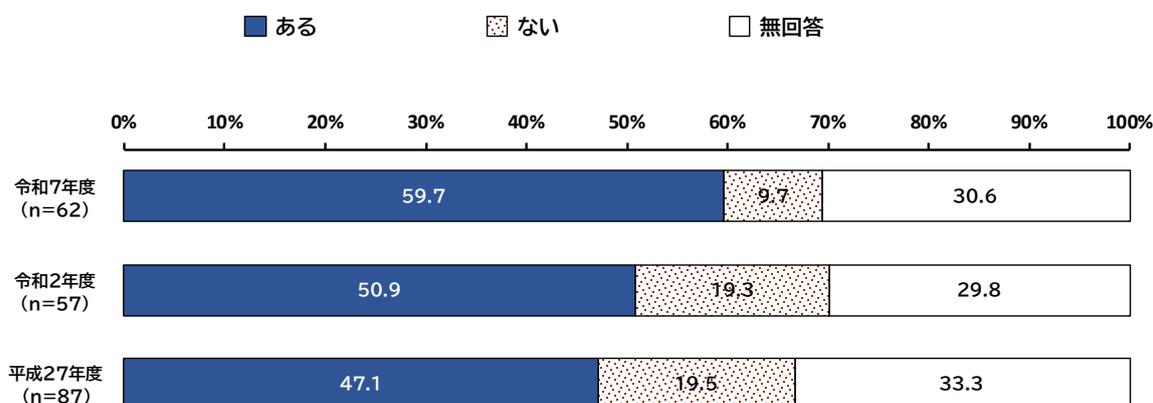


《合祀用墓地》

墓地を所有する 62 団体のうち 43 団体から具体的な区画数の回答が得られ、そのうち合祀用墓地を 1 区画以上所有しているのはうち 37 団体である。

合祀用墓地を 1 区画以上所有する 37 団体の合祀用墓地の区画合計数は 3,842 区画となっている。平均値は 103.8 区画、中央値は 1 区画となっている。また、最小値は 1 区画、最大値は 2,000 区画となっている。

図表 3-9 合祀用墓地の有無



⑦ 墓地の新設・拡張予定

問4. 墓地を新しく建設又は拡張する計画はありますか。

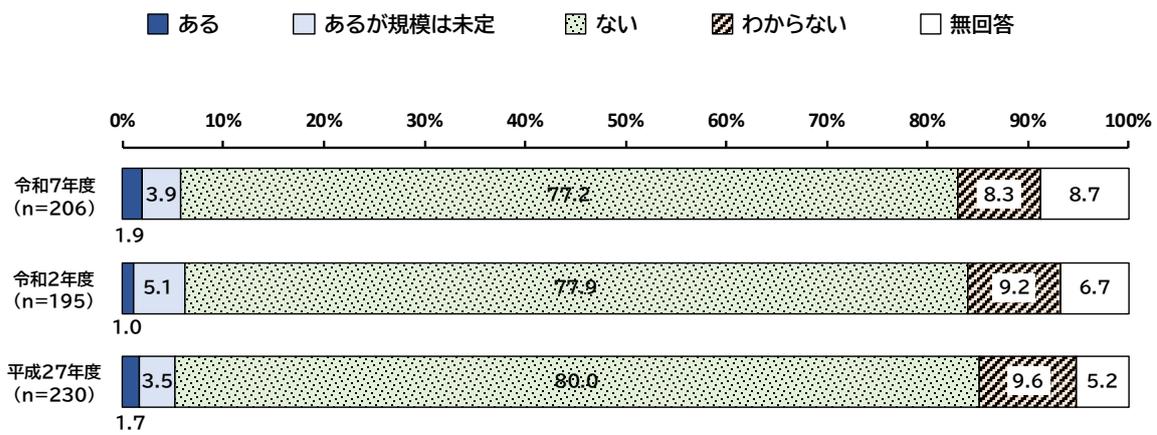
墓地を新しく建設又は拡張する計画としては、「ある」は1.9%、「あるが規模は未定」が3.9%、合計すると5.8%が新しく建設又は拡張する計画がある団体である。

なお、「ない」が77.2%と8割近くを占め、「わからない」が8.3%となっている。

過去からの調査と比較しても、大きな変化はみられない。

また、拡張計画がある場合の区画数には3団体から回答があり、2団体が5,000区画、1団体が1,000区画と回答している。

図表3-10 墓地の新設・拡張予定



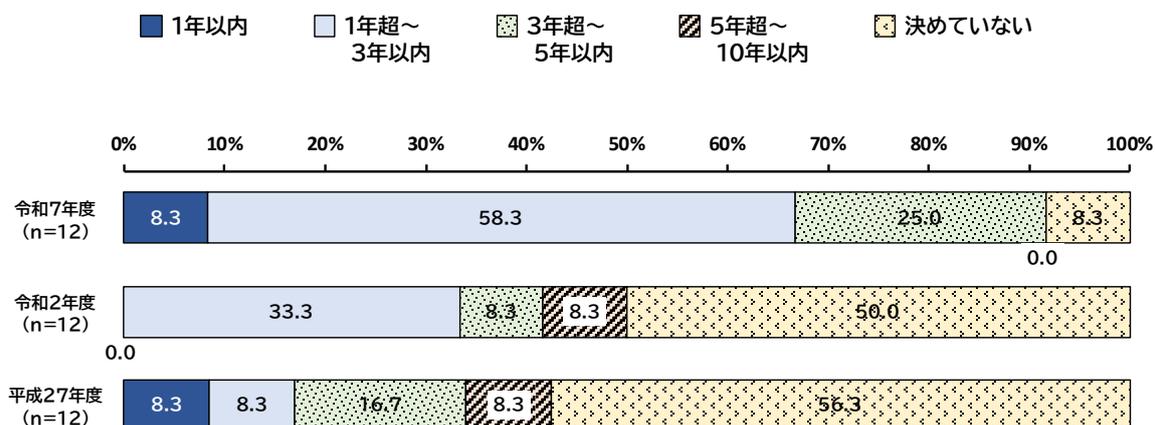
⑧ 墓地の新設・拡張予定の時期（墓地を新設・拡張予定がある、あるが規模は未定の団体）

問4-1. 墓地を新しく建設又は拡張する時期は、いつ頃を予定していますか。

墓地を新設・拡張予定がある、あるが規模は未定と回答した12団体が予定している時期としては、「1年超～3年以内」が58.3%と最も多く、次いで「3年超～5年以内」(25.0%)となっている。

過去の調査結果と比較すると、「1年超～3年以内」が前々回8.3%、前回33.3%、今回58.3%と増加している。逆に、「決めてない」は前回の50.0%から8.3%に減少している。

図表3-11 墓地の新設・拡張予定の時期



⑨ 墓地の利用者限定（墓地を新設・拡張予定がある、あるが規模は未定の宗教団体）

問4-2. 宗教団体の方におたずねします。

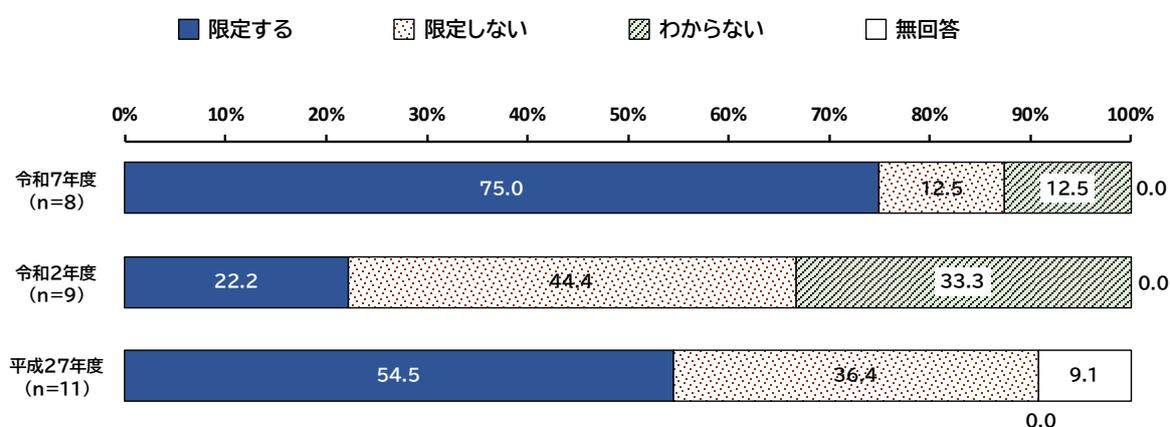
（宗教団体以外の方は、問5へお進みください。）

墓地を新しく建設又は拡張するとした場合、利用者は檀家（自宗派）に限定しますか。

墓地を新設・拡張予定がある、あるが規模は未定と回答した12団体のうち、宗教団体である8団体について檀家（自宗派）に限定した利用有無をみると、「限定する」が75.0%、「限定しない」が12.5%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「限定する」は前々回54.5%から前回は22.2%に減少し、今回は75.0%に増加している。

図表3-12 墓地の新設・拡張した場合の利用者限定



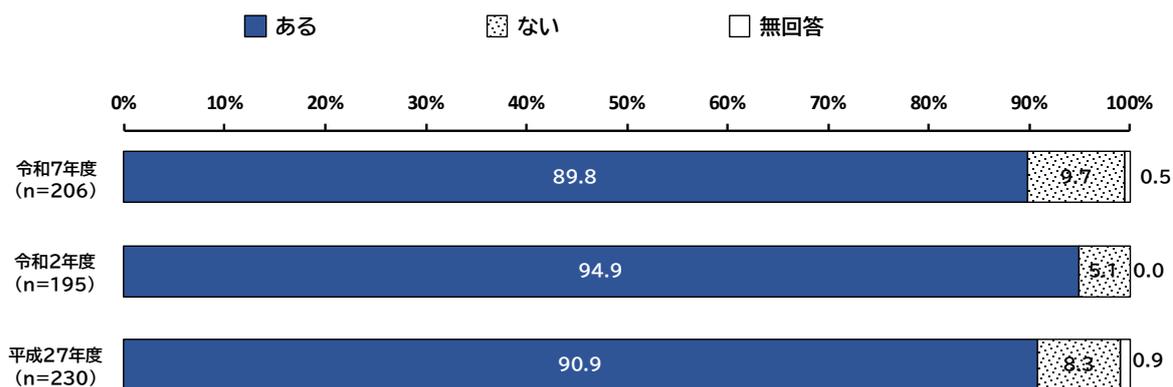
(3) 納骨堂に関する事項

① 納骨堂の有無

問5. 貴団体所有の納骨堂はありますか。

所有納骨堂の有無としては、「ある」が89.8%、「ない」が9.7%となっている。
過去の調査結果と比較すると、「ある」が前回の94.9%から89.8%に減少している。

図表3-13 納骨堂の有無



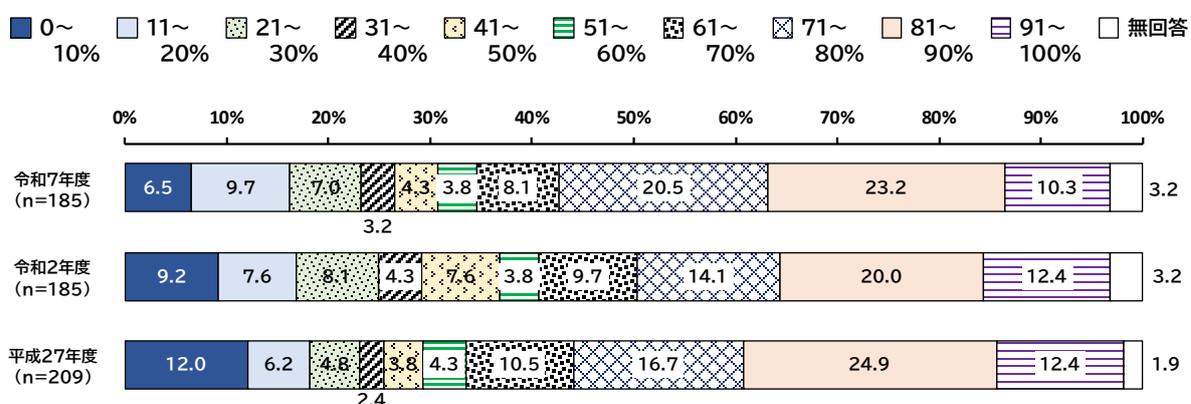
② 納骨堂利用者の福岡市内居住者の割合（納骨堂を所有する団体）

問5-1. 納骨堂利用者のうち、福岡市内居住者の割合はおよそどのくらいですか。

福岡市内居住者の割合としては、「81~90%」が23.2%と最も多くなっている。次いで「71~80%」(20.5%)、「91~100%」(10.3%)となっている。

過去の調査結果と比較すると、特に大きな変化はみられない。

図表3-14 納骨堂利用者の福岡市内居住者の割合



③ 納骨堂の壇数（納骨堂を所有する団体）

問5-2. 納骨堂は全部で何壇ありますか。
 （納骨堂が複数ある場合は合計の壇数をご記入ください。）

納骨堂を所有する 185 団体のうち 181 団体から具体的な区画数の回答が得られ、その合計壇数は 93,758 壇となっている。

平均値は 518.0 壇、中央値が 250 壇となっている。また、最小値は 1 壇、最大値は 22,804 壇となっている。1,000 壇以上の納骨堂を持つ大規模団体は 14 団体で、43,710 壇を所有している。

④ 未使用の壇数（納骨堂を所有する団体）

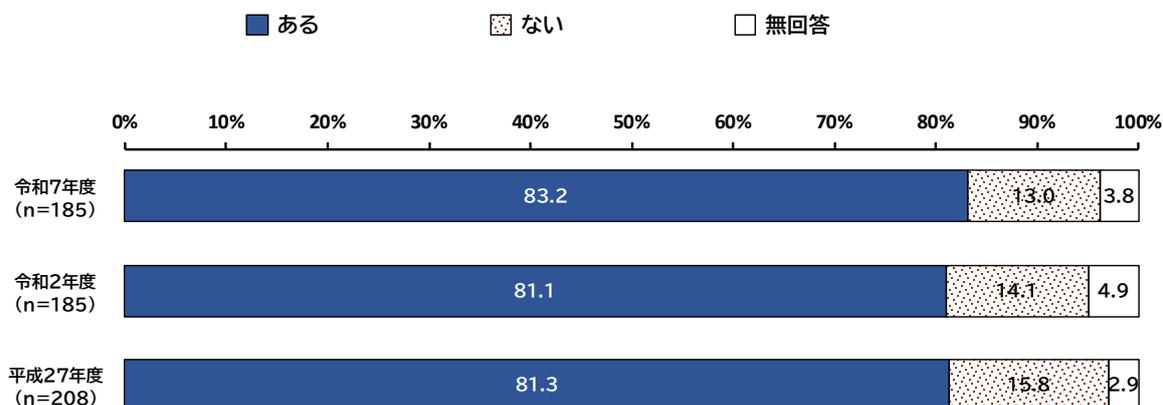
問5-3. 現在、未使用の壇数はいくつですか。
 （納骨堂が複数ある場合は合計の壇数をご記入ください。）

納骨堂を所有する 185 団体のうち 178 団体から具体的な壇数の回答が得られ、そのうち未使用壇を 1 壇以上所有しているのは 154 団体である。

未使用壇数を回答した 154 団体の合計壇数数は 17,748 壇、平均値は 115.2 壇、中央値が 28 壇となっている。また、最小値は 1 壇、最大値は 5,449 壇となっている。

過去の調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表3-15 未使用の壇数



⑤ 納骨堂の建築・増築計画の有無

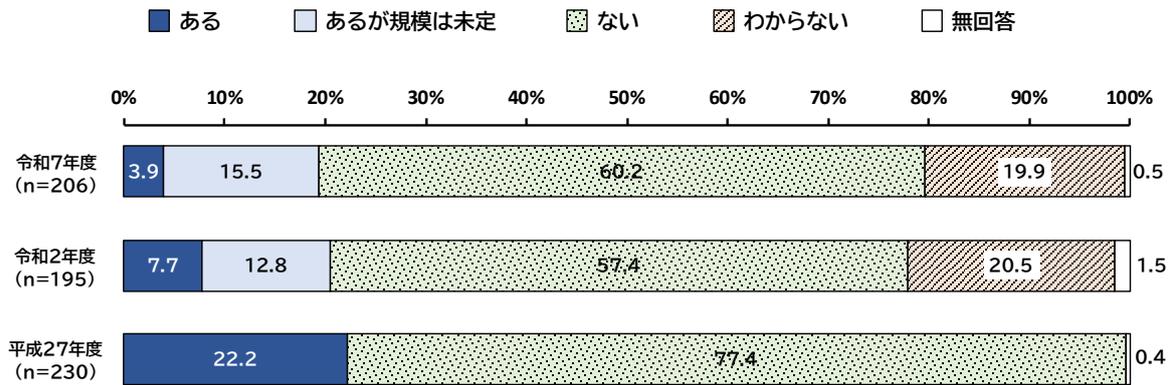
問6. 納骨堂を新しく建築又は増築する計画はありますか。

納骨堂を新しく建築又は増築する計画としては、計画がある団体としては、「ある」が3.9%、「あるが規模は未定」が15.5%となっている。また、「ない」が60.2%と最も多くなっている。

納骨堂の新築・増築計画のある8団体によって新築・増築される納骨堂の壇数は2,917壇である。

過去の調査と比較すると、「ある」と「あるが規模は未定」を合計した割合を計画があるとするならば、大きな変化はみられない。

図表3-16 納骨堂の建築・増築計画の有無



※令和2年度から「あるが規模は未定」、「わからない」を追加した。

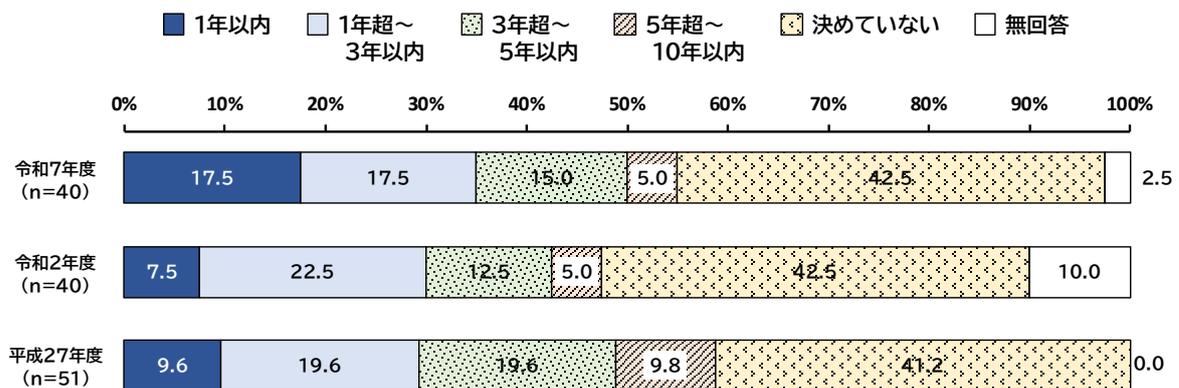
⑥ 納骨堂の建築・増築の時期（墓地を新設・拡張予定がある、あるが規模は未定の団体）

問6-1. 納骨堂を新しく建築又は増築する時期は、いつ頃を予定していますか。

納骨堂を新築・増築計画が「ある」「あるが規模は未定」と回答した40団体が納骨堂の新築・増築計画の予定している時期としては、「1年以内」と「1年超～3年以内」が各17.5%、「3年超～5年以内」が15.0%となっている。また、「決めていない」が42.5%と最も多くなっている。

過去の調査結果と比較すると、「1年以内」が前回の7.5%から17.5%に増加している。

図表3-17 納骨堂の建築・増築の時期



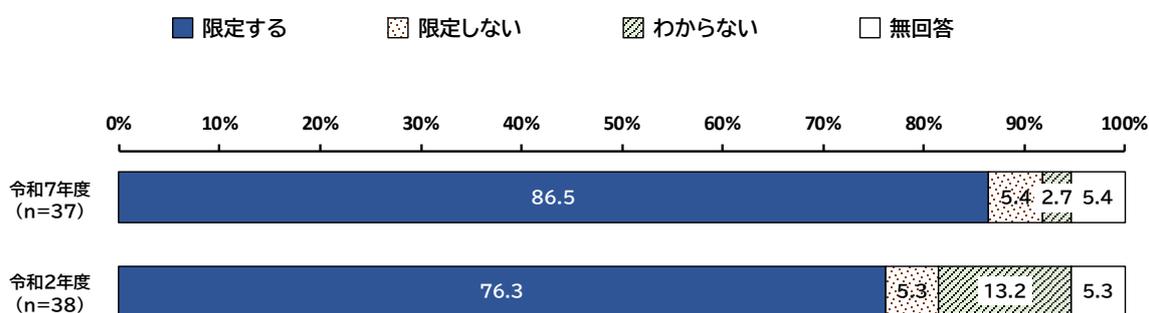
⑦ 利用者限定（墓地を新設・拡張予定がある、あるが規模は未定の宗教団体）

問6-2. 宗教団体の方におたずねします。
 （宗教団体以外の方は、問7へお進みください。）
 納骨堂を新しく建築又は増築するとした場合、利用者は檀家（自宗派）に限定しますか。

問6で納骨堂を新築・増築計画が「ある」「あるが規模は未定」と回答した40団体のうち、宗教団体37団体の納骨堂の自宗派限定の有無をみると、「限定する」が86.5%、「限定しない」が5.4%、「わからない」が2.7%、「わからない」が2.7%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「限定する」が前回の76.3%から86.5%に増加している。

図表3-18 建築・増築した納骨堂の利用者限定



第4章 福岡市における墓地・納骨堂の需要予測

第4章 福岡市における墓地・納骨堂の需要予測

1 需要の予測方法

福岡市市長室広聴課「令和7年度 市政に関する意識調査」において市民に墓地・納骨堂に関する意識調査を行い、得られた値及び国統計資料の値を基に、将来の福岡市における墓地・納骨堂の需要数を予測する。

需要予測の計算方法は以下の推計式により算出した。

(推計式)

$$\text{需要数} = \text{死亡者数} \times \text{定着志向係数} \times \text{必要者割合}$$

死亡者数：国立社会保障・人口問題研究所（令和5年12月1日現在）市区町村別仮定値データ

定着志向係数：『令和7年度 市政に関する意識調査』において、福岡市の住みやすさに関する調査項目の問3で「福岡市にずっと住み続けたい」と回答した人の割合

必要者割合：『令和7年度 市政に関する意識調査』において、墓地・納骨堂に関する調査項目の問8において「新たにお墓や納骨堂の取得を考えている」と回答した人の割合に、問12における5年毎の取得意向割合を乗じた割合

2 需要予測結果

年	将来の死亡者数 (人)	定着志向係数 (%)	必要者割合 (%)	需要数 (1人未満四捨五入)	
				5年当たり	1年当たり
2026～2030	75,213	92.9	3.8	2,655	531
2031～2035	81,166	92.9	4.4	3,318	664
2036～2045	177,209	92.9	3.1	(10年) 5,103	510

※必要者割合の計算式

「令和7年度 市政に関する意識調査」の問8「新たにお墓や納骨堂の取得を考えている」と回答した21.0%に、問12「お墓や納骨堂の取得はいつ頃を検討していますか。」において5年毎の取得割合を乗じて算出する。

(5年以内) $0.21 \times 88/482 = 0.0383 \doteq 3.8\%$

(10年以内) $0.21 \times 82/394 = 0.0437 \doteq 4.4\%$

(20年以内) $0.21 \times 46/312 = 0.0310 \doteq 3.1\%$

市政に関する意識調査の結果に基づいて算出された墓地・納骨堂需要予測結果は表のとおりである。この結果より、市民の墓地・納骨堂の必要数は、2026年から向う5年間は531基/年、2031年から5年間は664基/年、2036年から10年間は510基/年である。

3 考察

国立社会保障・人口問題研究所発表の市区町村別仮定値データに基づき推計した死亡者数に、「令和7年度 市政に関する意識調査」による定着志向係数と必要者割合を乗じて推計した需要数であることから、墓地・納骨堂に対する市民意識の把握に努めつつ、需要動向を検証していくことが重要である。

第5章 福岡市における墓地・納骨堂の需給状況

第5章 福岡市における墓地・納骨堂の需給状況

1 墓地の供給量及び今後の利用可能年数

－福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査結果－

- 調査対象 市内・市外近郊において墓地・納骨堂を経営する法人
- アンケート発送数（回収数） 399通（207通）
- アンケート有効回収率 51.9%

【墓地区画数】

・所有区画数	78,715	区画
・使用区画数	62,168	区画
・無縁化区画数	570	区画
・未使用区画数	15,977	区画
うち市民使用可能区画数	7,880	区画

※市民使用可能区画数 = Σ 法人合計（(法人別未使用区画数 + 法人別無縁化区画数) × 法人別市民使用割合）
法人ごとに、所有する無縁化区画と未使用区画の和にその法人の市民の使用割合を乗じた後、全法人の区画数を合計した。

「福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査結果（以下「経営者アンケート」とする）」で得られた墓地の未使用区画数のうち、市民が使用可能な区画数は 7,880区画であり、市民の需要数に対して何年分に相当するかの検討を行った。

「市政に関する意識調査」により得られた、第4章における 2026 年から5年毎の年間当たりの墓地等に関する需要数を基に、上記の市内及び市外近郊都市を含めた墓地において今後市民が利用可能な年数を以下の通り計算した。

$$531 \times 5年 + 664 \times 5年 + 510 \times 3.7年 = 7,862 \div 7,880 \text{区画} \\ (\text{約} 13.7 \text{年分})$$

2 納骨堂の供給量及び今後の利用可能年数

－福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査結果－

- 調査対象 市内・市外近郊において墓地・納骨堂を経営する法人
- アンケート発送数（回収数） 399 通（207 通）
- アンケート有効回収率 51.9%

【納骨堂壇数】

・所有壇数	93,758	壇
・使用壇数	76,010	壇
・未使用壇数	17,748	壇
うち市民使用可能壇数	9,855	壇

※市民使用可能壇数 = Σ 法人合計（法人別合計未使用壇数×法人別市民使用割合）

「経営者アンケート」で得られた現在未使用の納骨堂壇数のうち、市民が使用可能な壇数は 9,855 壇であり、市民の需要数に対して何年分に相当するかの検討を行った。

「市政に関する意識調査」により得られた、第4章における 2026 年から 5 年毎の年間当たりの墓地等に関する需要数を基に、上記の市内及び市外近郊都市を含めた納骨堂において今後市民が利用可能な年数を以下の通り計算した。

$$531 \times 5 \text{年} + 664 \times 5 \text{年} + 510 \times 7.6 \text{年} = 9,851 \div 9,855 \text{壇}$$

(約 17.6 年分)

3 需給状況の総括

福岡都市圏における墓地・納骨堂の需給状況の実態を把握し、広域的な需給バランスの確保を目的として、需要算定のため市民に対して市民アンケート調査を行い、墓地・納骨堂を経営する福岡市近郊の法人に対して供給量算定のため行った経営者アンケート調査と併せて分析することにより、福岡市における墓地・納骨堂の需給状況を推定した。

(1) 市民アンケート調査による墓地・納骨堂の需要について

① 新たなお墓や納骨堂の取得意向（問8～12）

新たなお墓や納骨堂の取得意向（問8）は、「考えている」（21.0%）、「考えていない」（76.2%）で、新たな取得を考える人は多くない。性・年代別には、男女とも18～29歳は「考えている」の割合は1割未満と低く、必要性を認識している人はほとんどいない。一方、男性は40代、女性は50代を境に「考えている」の割合が2割を超えるが、それ以上に年齢が上昇しても割合は大きく変わらず、お墓や納骨堂の取得を考えるのは、年齢以外の要因も関係しているとみられる。

新たなお墓や納骨堂の取得を「考えている」人の考えている理由（問9）は、「現在利用できるお墓や納骨堂がないから」（55.6%）が主な理由で、このほか「遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから」（21.8%）もやや多い。性・年代別には、「現在利用できるお墓や納骨堂がないから」は男女とも30代で多いなど、若い人でも将来的な備えとして考えている人は一定数みられる。

新たなお墓や納骨堂の取得を「考えている」人が取得する場合に重視すること（問10）は、「費用（取得費や管理費）」（64.1%）、「自宅からの距離や交通利便性」（55.2%）などが多く、「管理や運営の形態」（26.1%）もやや多い。一方で「宗旨や宗派」は5.0%にとどまり、これから新たにお墓や納骨堂の取得を考える人は、宗教的な理由より、費用面や管理、お参りする際の交通利便性を優先する人が多い。

新たなお墓や納骨堂の取得を「考えている」人の希望するお墓や納骨堂（問11）は、「公営霊園（県、市町村など地方公共団体が設置・管理する霊園）」（43.6%）、「寺院等の納骨堂（寺院などが設置・管理する納骨堂）」（24.1%）などが多い。取得する場合の重視点（問10）で費用が最も重視されていたことから、「公営霊園（県、市町村など地方公共団体が設置・管理する霊園）」に対して、費用的なメリットを持つ人が多いと考えられる。性・年代別には、女性の30代以下では「わからない」が相対的に多く、取得を考えている人でも、自身に適したお墓や納骨堂がよくわからない人は多い。

新たなお墓や納骨堂の取得を「考えている」人の取得時期（問12）は、「時期は決めていない」（38.2%）が主流で、決めている人も「10年以内」（17.0%）、「5年以内」（10.6%）などさまざまである。性・年代別には、男女とも70歳以上は「2年以内」、「5年以内」など相対的に短い時期のうちに取得を検討しており、特に男性70歳以上は『5年以内（合計）』が過半数（55.9%）を占める。

② 将来希望する埋葬等供養の方法（問 14）

将来、希望する埋葬等の供養の方法（問 14）は、「納骨堂」（37.0%）が最も多く、「散骨（焼骨を粉末にしたものを海などに撒く葬送）」（28.2%）、「墓地」（26.1%）、「樹木葬（墓石等の代わりに低木を植えたり、樹木の根元に穴を掘り、遺骨を埋葬するもの）」（22.6%）もやや多い。性・年代別には、女性 40 代、50 代は「散骨（焼骨を粉末にしたものを海などに撒く葬送）」、「樹木葬（墓石等の代わりに低木を植えたり、樹木の根元に穴を掘り、遺骨を埋葬するもの）」が相対的に多く、納骨堂や墓地などに入るより、海や樹木に葬送されることを望む人が少なくない。一方、男性 30 代以下は、「墓地」が最も多く、男性 18～29 歳では「散骨（焼骨を粉末にしたものを海などに撒く葬送）」や「樹木葬（墓石等の代わりに低木を植えたり、樹木の根元に穴を掘り、遺骨を埋葬するもの）」が全性・年代の中でも最も少ない。

③ 市民アンケート調査のまとめ

自身が亡くなった際のお墓や納骨堂がある人は半数あまりで、年代が低いほどあるかどうかもわからない傾向にあり、普段意識していない人が少なくない。新たにお墓や納骨堂の取得を考えている人は一部で、必要性は感じながら、中長期的に考える人が多いとみられる。

取得する際に重視することは費用や交通利便性で、お墓や納骨堂がなくこれから新たに取得を考える人は、宗教的な理由より、費用面や利便性が優先され、費用面を重視すると公営霊園にメリットを感じる人が多いと考えられる。また、費用や交通利便性の重視は、自身だけでなく、承継する家族等の負担をできるだけ軽減したいという意識も含まれると考えられる。

現在、お墓や納骨堂がある人も、承継者や管理費などで問題を感じる人もみられるが、お墓や納骨堂について今あまり意識していない若い人も、今後、自身が承継する年代になって、改めて問題を認識する人も少なくないと考えられる。

一方、市民の自身の埋葬等供養に関する意識は、希望する方法では納骨堂が多いものの、女性 40～50 代では、散骨や樹木葬を望む人も多く、葬送に対する価値観の多様化がうかがえる。個人の意識に加え、家族等の負担軽減まで考える人も少なくないとみられる。一方で、20 代以下の若い男性は、墓地や納骨堂など従来の供養方法をイメージする人が多く、散骨や樹木葬は特に少ないが、まだ現実的に関心を持つ人が少なく、さまざまな方法について情報を持たないことが背景にあると考えられる。

（2）需給状況のまとめ

① 市民が現在使用している墓地区画数合計 78,715 区画に対し、現在使用している納骨堂壇数合計は 93,758 壇数と、納骨堂壇数が墓地区画数を 15,043 壇上回った。

また、市民が利用可能な墓地・納骨堂の年数を予測したところ、経営許可を持つ団体において、今後、墓地は 13.7 年分、納骨堂は 17.6 年分の利用が可能と推定された。

② 墓地・納骨堂の供給量に関しては、需要予測の結果、今後 10 年間は十分な供給量を確保できていると思われるが、今後の高齢化のより一層の進展、人口増加が顕著な人口動態に注視しつつ、市民意識の変化にも対応しながら、ニーズに合わせた墓地・納骨堂の供給体制を構築していく必要がある。

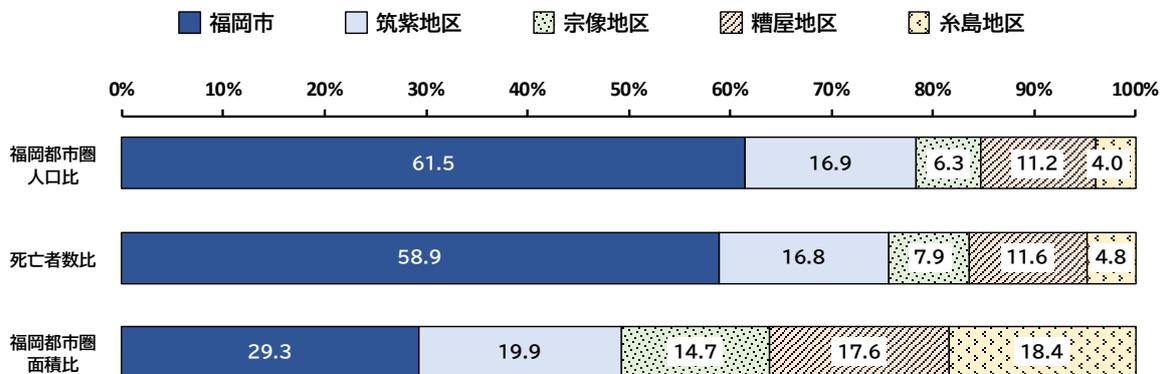
資料編

資料編

1 福岡都市圏資料

●福岡都市圏人口等（住民基本台帳）

市区町村名	人口 (R7.1.1)			世帯数 (R7.1.1)	死亡者数 (R6.1.1~R6.12.31)	面積(Km ²) (R7.1)
	男	女	計			
福岡都市圏合計	1,247,377	1,367,961	2,615,338	1,331,274	25,621	1,171.89
福岡市	762,036	846,104	1,608,140	873,871	15,084	343.47
東区	160,438	169,991	330,429	172,315	3,163	69.46
博多区	119,153	126,714	245,867	156,475	2,115	31.62
中央区	90,227	111,165	201,392	125,199	1,465	15.39
南区	126,695	143,656	270,351	141,582	2,633	30.98
西区	99,665	109,519	209,184	102,644	2,167	84.16
城南区	60,286	67,103	127,389	66,469	1,342	15.99
早良区	105,572	117,956	223,528	109,187	2,199	95.87
筑紫地区	213,033	229,799	442,832	202,246	4,309	233.32
筑紫野市	50,866	55,509	106,375	48,524	1,081	87.73
春日市	54,081	57,838	111,919	51,258	984	14.15
大野城市	49,859	53,678	103,537	47,201	958	26.89
太宰府市	34,284	37,282	71,566	33,413	788	29.60
那珂川市	23,943	25,492	49,435	21,850	498	74.95
宗像地区	79,158	86,912	166,070	75,966	2,029	172.70
宗像市	46,386	50,483	96,869	45,303	1,238	119.94
福津市	32,772	36,429	69,201	30,663	791	52.76
糟屋地区	143,092	151,029	294,121	132,246	2,969	206.71
古賀市	28,454	30,730	59,184	27,288	598	42.07
宇美町	18,104	18,774	36,878	16,867	422	30.21
篠栗町	15,190	16,071	31,261	14,204	334	38.93
志免町	22,447	23,932	46,379	21,171	479	8.69
須恵町	14,374	14,933	29,307	12,986	316	16.31
新宮町	15,895	17,084	32,979	13,711	307	18.93
久山町	4,489	4,921	9,410	3,907	81	37.44
粕屋町	24,139	24,584	48,723	22,112	432	14.13
糸島地区	50,058	54,117	104,175	46,945	1,230	215.69
糸島市	50,058	54,117	104,175	46,945	1,230	215.69



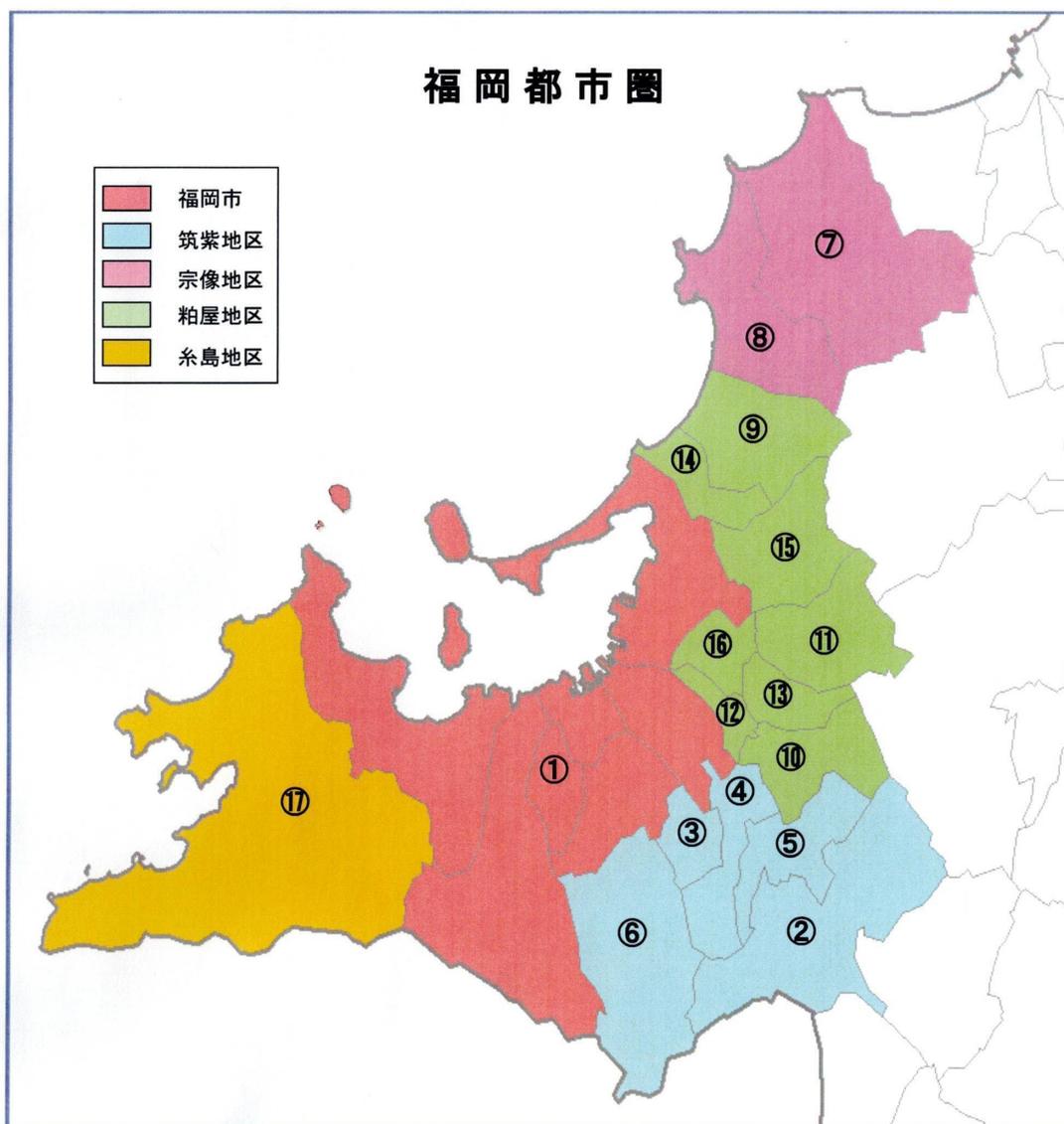
出典 人口・世帯数・死亡者数：令和7年1月1日住民基本台帳人口・世帯数、令和6年人口動態（総務省）

面積：令和7年 全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）（国土交通省国土地理院）

●国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年12月1日現在）』をもとに算出した福岡市の死亡者予測

期首年齢→期末年齢	令和7年→令和12年 2025年→2030年	令和13年→令和18年 2030年→2035年	令和19年→令和24年 2035年→2040年	令和25年→令和30年 2040年→2045年	令和31年→令和36年 2045年→2050年
男					
0～4歳→5～9歳	16	14	13	11	10
5～9歳→10～14歳	12	10	9	8	8
10～14歳→15～19歳	24	21	18	17	16
15～19歳→20～24歳	63	62	55	48	45
20～24歳→25～29歳	114	113	109	98	84
25～29歳→30～34歳	131	116	114	110	98
30～34歳→35～39歳	155	153	136	133	127
35～39歳→40～44歳	223	207	201	179	173
40～44歳→45～49歳	355	301	278	272	244
45～49歳→50～54歳	642	567	481	445	436
50～54歳→55～59歳	1,131	981	867	738	684
55～59歳→60～64歳	1,431	1,602	1,395	1,238	1,060
60～64歳→65～69歳	1,927	2,039	2,286	1,991	1,769
65～69歳→70～74歳	2,731	2,741	2,924	3,292	2,880
70～74歳→75～79歳	4,192	3,623	3,675	3,960	4,496
75～79歳→80～84歳	6,412	5,680	4,943	5,043	5,465
80～84歳→85～89歳	6,505	8,735	7,785	6,884	7,111
85～89歳→90～94歳	6,090	7,121	10,036	9,055	8,266
90歳以上	5,095	6,057	7,359	10,598	11,348
女					
0～4歳→5～9歳	14	13	12	11	10
5～9歳→10～14歳	9	7	7	6	6
10～14歳→15～19歳	13	12	10	10	10
15～19歳→20～24歳	31	30	27	23	22
20～24歳→25～29歳	49	48	46	42	36
25～29歳→30～34歳	69	62	61	58	52
30～34歳→35～39歳	92	89	81	79	75
35～39歳→40～44歳	136	128	124	114	111
40～44歳→45～49歳	223	193	182	177	163
45～49歳→50～54歳	399	357	308	288	280
50～54歳→55～59歳	616	546	490	424	397
55～59歳→60～64歳	729	809	717	643	557
60～64歳→65～69歳	874	934	1,032	912	817
65～69歳→70～74歳	1,289	1,298	1,392	1,540	1,362
70～74歳→75～79歳	2,205	1,867	1,882	2,025	2,246
75～79歳→80～84歳	4,155	3,522	2,983	2,999	3,221
80～84歳→85～89歳	5,684	6,873	5,861	5,015	5,070
85～89歳→90～94歳	7,920	8,505	10,681	9,223	8,090
90歳以上	13,457	15,730	17,990	22,930	24,878
合計（推計死亡者数）	75,213	81,166	86,570	90,639	91,723
年平均	15,043	16,233	17,314	18,128	18,345
総人口	1,659,766	1,669,128	1,664,570	1,647,255	1,622,565

●福岡都市圏（地図）



- 福岡** ①福岡市（東区、博多区、中央区、南区、城南区、早良区、西区）
- 筑紫地区** ②筑紫野市 ③春日市 ④大野城市 ⑤太宰府市 ⑥那珂川市
- 宗像地区** ⑦宗像市 ⑧福津市
- 粕屋地区** ⑨古賀市 ⑩宇美町 ⑪篠栗町 ⑫志免町 ⑬須恵町 ⑭新宮町
⑮久山町 ⑯粕屋町
- 糸島地区** ⑰糸島市

2 令和7年度 市政に関する意識調査（市民アンケート調査票）

《「墓地・納骨堂」についておたずねします》

福岡市では、墓地・納骨堂の需要量及び実態を把握することにより、今後の福岡市における墓地・納骨堂経営に関するあり方を考える資料としています。

そこで、本市における墓地・納骨堂についての市民の皆さまのご意見をおたずねします。



墓地：お墓が設置されている場所



納骨堂：ご遺骨を安置している建物

※この「墓地・納骨堂」についてのアンケートでは、「あなた」には「あなたの近親者（親・子・きょうだい）」を含むものとします。

※宗教・宗派によらず、さまざまな人が利用できる墓地を霊園といいます。

問6 あなたには、現在、あなたが亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂がありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- | | | | |
|---|-------|---|-------|
| 1 | ある | } | ⇒ 問7へ |
| 2 | ない | | ⇒ 問8へ |
| 3 | わからない | | |

問7 《 問6で「1」と回答した方におたずねします。》

それはどのようなお墓や納骨堂ですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- | | | |
|---|--|---|
| 1 | 公営霊園（県、市町村など地方公共団体が設置・管理する霊園） | |
| 2 | 民営霊園（宗教団体などからの委託を受けて、民間の企業が管理・運営を行う霊園） | |
| 3 | 市有・財産区有墓地（地元で管理しているまたは共同利用が認められた土地などにある、先祖伝来のお墓） | |
| 4 | 市有納骨堂（市が設置し地元で管理している先祖伝来の納骨堂） | |
| 5 | 寺院等の墓地（寺院などが設置・管理するお墓） | |
| 6 | 寺院等の納骨堂（寺院などが設置・管理する納骨堂） | |
| 7 | その他（具体的に： | ） |
| 8 | わからない | |

《 すべての方におたずねします。 》

問8 あなたは、新たにお墓や納骨堂の取得を考えていますか（時期は関係なく）。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- | | | | |
|---|--------|---|---------|
| 1 | 考えている | ⇒ | 問9～問12へ |
| 2 | 考えていない | ⇒ | 問13へ |

問9 《 問8で「1」と回答した方におたずねします。 》

新たにお墓や納骨堂の取得を考えている理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | | |
|---|------------------------|---|
| 1 | 現在利用できるお墓や納骨堂がないから | |
| 2 | 現在利用しているお墓や納骨堂に不満があるから | |
| 3 | 遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから | |
| 4 | その他（具体的に： | ） |

問10 《 問8で「1」と回答した方におたずねします。 》

お墓や納骨堂を取得する場合、重視することは何ですか。特にあてはまるものを2つまで選んでください。

- | | | |
|---|---------------|---|
| 1 | 費用（取得費や管理費） | |
| 2 | 自宅からの距離や交通利便性 | |
| 3 | 出身地・実家に近いこと | |
| 4 | 管理や運営の形態 | |
| 5 | 周囲の環境 | |
| 6 | 宗旨や宗派 | |
| 7 | その他（具体的に： | ） |
| 8 | 特になし | |

問 11 << 問8で「1」と回答した方におたずねします。>>

どのようなお墓や納骨堂を希望しますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 公営霊園（県、市町村など地方公共団体が設置・管理する霊園）
- 2 民営霊園（宗教団体などからの委託を受けて、民間の企業が管理・運営を行う霊園）
- 3 市有・財産区有墓地（地元で管理しているまたは共同利用が認められた土地などにある、先祖伝来のお墓）
- 4 市有納骨堂（市が設置し地元で管理している先祖伝来の納骨堂）
- 5 寺院等の墓地（寺院などが設置・管理するお墓）
- 6 寺院等の納骨堂（寺院などが設置・管理する納骨堂）
- 7 その他（具体的に： _____)
- 8 特にこだわらない
- 9 わからない

問 12 << 問8で「1」と回答した方におたずねします。>>

お墓や納骨堂の取得はいつ頃を検討していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 1 2年以内
- 2 5年以内
- 3 10年以内
- 4 20年以内
- 5 20年より先
- 6 時期は決めていない

<< すべての方におたずねします。>>

問 13 あなたは、現在お墓や納骨堂について何か問題を感じていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 お墓や納骨堂の承継者がいない
- 2 取得費や管理費が高い
- 3 今あるお墓や納骨堂に入りたくない
- 4 お墓や納骨堂の管理が難しい
- 5 お墓や納骨堂の管理者とトラブルがある
- 6 漠然とした不安がある
- 7 その他（具体的に： _____)
- 8 問題を感じていない
- 9 現在利用できるお墓や納骨堂がない

問 14 将来、あなたが亡くなった場合、埋葬等の供養の方法はどのような形式のものを希望しますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 墓地
- 2 納骨堂
- 3 ご遺体を火葬後、直接合葬^{※1}する墓地
- 4 ご遺体を火葬後、直接合葬する納骨堂
- 5 一定期間墓地又は納骨堂で供養されたのち、合葬する墓地または納骨堂
- 6 自宅供養（焼骨が入った骨壺をご自宅に安置する など）
- 7 樹木葬（墓石等の代わりに低木を植えたり、樹木の根元に穴を掘り、遺骨を埋葬するもの）
- 8 散骨（焼骨を粉末にしたものを海などに撒く葬送）
- 9 レンタル墓石（墓石を一定期間のみ借りることが可能で、契約期間が終了すると墓石は取り外され、別の利用者に提供されるもの）
- 10 その他（具体的に： _____ ）

※1 合葬…骨壺からご遺骨を取り出し、他人の遺骨とまとめて埋蔵または収蔵すること

問42 あなたの性別は

調査数	男性	女性	無回答
2,299	965	1,318	16
100.0	42.0	57.3	0.7

問43 あなたの年齢は

調査数	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	平均(歳)
2,299	207	269	356	436	369	618	44	55.8
100.0	9.0	11.7	15.5	19.0	16.1	26.9	1.9	

問44 あなたの家族数(同居人数)は、あなたを含めて何人ですか。(1つだけ選択)

調査数	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
2,299	500	807	504	316	119	31	22
100.0	21.7	35.1	21.9	13.7	5.2	1.3	1.0

問45 家族構成は

調査数	い(单身(同居人はいない))	夫婦のみ	親と子の二世帯	親と子と孫の三世帯	兄弟姉妹のみ	その他	無回答
2,299	499	609	1,012	88	16	36	39
100.0	21.7	26.5	44.0	3.8	0.7	1.6	1.7

問46 あなたが同居している家族についておたずねします。あなた自身も含めて、あてはまるものをすべて選んでください(単身の方はご自身について選んでください)。

調査数	未就学児	小学生	中学生	高校生	大専・専門学校生・短大生	大学・大学院生	65歳未満の人	65歳以上75歳未満の人	75歳以上の人	「1」「5」「8」以外の「人」	無回答
2,299	190	206	144	151	40	159	561	578	1,422	63	
100.0	8.3	9.0	6.3	6.6	1.7	6.9	24.4	25.1	61.9	2.7	

問47 あなたのお住まいの区は

調査数	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	無回答
2,299	464	304	302	393	174	339	308	15
100.0	20.2	13.2	13.1	17.1	7.6	14.7	13.4	0.7

問50 あなたが福岡市に住んでいる年数は通算で何年になりますか。(1つだけ選択)

調査数	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	満10年以上20年未満	満20年以上30年未満	30年以上	無回答
2,299	46	81	68	152	348	352	1,221	31
100.0	2.0	3.5	3.0	6.6	15.1	15.3	53.1	1.3

令和7年度 福岡市墓地・納骨堂に関する アンケート調査

（ご協力のお願い）

日頃から市政に関してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、この度、福岡都市圏における墓地・納骨堂の実態を把握するため、アンケート調査を実施いたします。この調査は令和2年度に引き続き5年ぶり5回目の調査となります。皆様のご意見を基に、今後の福岡市における墓地・納骨堂経営に関するあり方を考える資料とすることを目的としています。

調査は無記名で行い、調査の結果は「こういう意見の方が何%」というように数字で統計的に処理しますので、お答えいただきました内容が直接公表されることは一切ございません。併せて、本調査の目的以外に調査結果を使用することもございません。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただくとともに、ご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

令和7年8月

福岡市長 高島 宗一郎

1. この調査票は、墓地又は納骨堂を経営されている団体代表者の方にご回答をお願いします。
2. 調査については、令和7年4月1日現在の状況をご記入ください。
3. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。または枠内に該当する番号をご記入ください。○○〔 〕とある場合には、〔 〕内に具体的な内容をご記入ください。

（例）問 納骨堂を新築または増築する計画はありますか。

- | | |
|-------------|-------------|
| ①ある〔 100 〕壇 | 2. あるが規模は未定 |
| 3. ない | 4. わからない |

4. ご記入漏れ、ご記入ミスがあると集計に支障をきたします。すべてご記入された後、もう一度ご確認をお願いします。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**令和7年9月5日（金）までに** ご投函ください。
6. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

<調査主体> 福岡市保健医療局生活衛生部生活衛生課 墓地等管理係
担当：矢野・坂本 電話：092-711-4273 FAX：092-733-5588

<調査実施：お問合せ先>
株式会社東京商工リサーチ 福岡支社
担当：瀬戸 電話：092-431-2131 FAX：092-473-6126

問1. 貴団体は次のどれにあてはまりますか。

- | | | |
|---------|-----------------|-----------|
| 1. 仏教系 | 2. 神道系 | 3. キリスト教系 |
| 4. 公益法人 | 5. その他〔 _____ 〕 | |

問2. 貴団体の主たる事務所の所在地はどこですか。

- | | | |
|----------|------------------|-----------|
| 1. 福岡市東区 | 2. 福岡市博多区 | 3. 福岡市中央区 |
| 4. 福岡市南区 | 5. 福岡市城南区 | 6. 福岡市早良区 |
| 7. 福岡市西区 | 8. 福岡市外〔 _____ 〕 | |

問3. 貴団体所有の墓地(霊園を含む。以下同じ。)はありますか。

- | |
|-----------------------|
| 1. ある …… 問3-1へお進みください |
| 2. ない …… 問4へお進みください |

ここからは、問3で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問3-1. その墓地はどこにありますか。

(複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。)

- | | | |
|----------|------------------|-----------|
| 1. 福岡市東区 | 2. 福岡市博多区 | 3. 福岡市中央区 |
| 4. 福岡市南区 | 5. 福岡市城南区 | 6. 福岡市早良区 |
| 7. 福岡市西区 | 8. 福岡市外〔 _____ 〕 | |

問3-2. 宗教団体の方におたずねします。

(宗教団体以外の方は、問3-3へお進みください。)

墓地利用者は、檀家(自宗派)に限定していますか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 限定している | 2. 限定していない |
|-----------|------------|

問3-3. 墓地利用者のうち、福岡市内居住者の割合はおよそどのくらいですか。

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. 0~10% | 2. 11~20% | 3. 21~30% |
| 4. 31~40% | 5. 41~50% | 6. 51~60% |
| 7. 61~70% | 8. 71~80% | 9. 81~90% |
| 10. 91~100% | | |

問3-4. 墓地は全部で何区画ありますか。

(墓地が複数ある場合は合計の区画数をご記入ください。)

{ _____ }区画

問3-4-1. 墓地区画のうち、次の墓地はそれぞれ何区画ありますか。

無縁墓地 : { _____ }区画

未使用墓地 : { _____ }区画

合祀用墓地 : { _____ }区画

全員の方におたずねします。

問4. 墓地を新しく建設又は拡張する計画はありますか。

1 . ある { _____ }区画

2 . あるが規模は未定

3 . ない

4 . わからない

ここからは、問4で「1」または「2」とお答えの方のみにおたずねします。

問4-1. 墓地を新しく建設又は拡張する時期は、いつ頃を予定していますか。

1 . 1年以内

2 . 1年超～3年以内

3 . 3年超～5年以内

4 . 5年超～10年以内

5 . 決めていない

問4-2. 宗教団体の方におたずねします。

(宗教団体以外の方は、問5へお進みください。)

墓地を新しく建設又は拡張するとした場合、利用者は檀家(自宗派)に限定しますか。

1 . 限定する

2 . 限定しない

3 . わからない

全員の方におたずねします。

問5. 貴団体所有の納骨堂はありますか。

- 1. ある …… 問5-1へお進みください
- 2. ない …… 問6へお進みください

ここからは、問5で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問5-1. 納骨堂利用者のうち、福岡市内居住者の割合はおよそどのくらいですか。

- 1. 0～10%
- 2. 11～20%
- 3. 21～30%
- 4. 31～40%
- 5. 41～50%
- 6. 51～60%
- 7. 61～70%
- 8. 71～80%
- 9. 81～90%
- 10. 91～100%

問5-2. 納骨堂は全部で何壇ありますか。

(納骨堂が複数ある場合は合計の壇数をご記入ください。)

{ _____ } 壇

問5-3. 現在、未使用の壇数はいくつですか。

(納骨堂が複数ある場合は合計の壇数をご記入ください。)

{ _____ } 壇

全員の方におたずねします。

問6. 納骨堂を新しく建築又は増築する計画はありますか。

- 1. ある { _____ } 壇
- 2. あるが規模は未定
- 3. ない
- 4. わからない

5 令和7年度 福岡市墓地・納骨堂に関するアンケート調査 集計結果

問1. 貴団体は次のどれにあてはまりますか。

	調査数	仏教系	神道系	キリスト教系	公益法人	その他	無回答	
全体	206	161	10	23	5	6	1	上段：件数
	100.0	78.2	4.9	11.2	2.4	2.9	0.5	上段：構成比%

問2. 貴団体の主たる事務所の所在地はどこですか。

	調査数	福岡市東区	福岡市博多区	福岡市中央区	福岡市南区	福岡市城南区	福岡市早良区	福岡市西区	福岡市外
全体	206	20	34	44	14	5	12	26	51
	100.0	9.7	16.5	21.4	6.8	2.4	5.8	12.6	24.8

問3. 貴団体所有の墓地（霊園を含む。以下同じ。）はありますか。

	調査数	ある	ない	無回答
全体	206	62	141	3
	100.0	30.1	68.4	1.5

問3-1. その墓地はどこにありますか。（複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。）

	調査数	福岡市東区	福岡市博多区	福岡市中央区	福岡市南区	福岡市城南区	福岡市早良区	福岡市西区	福岡市外	無回答
全体	62	4	13	13	4	2	2	4	21	1
	100.0	6.5	21.0	21.0	6.5	3.2	3.2	6.5	33.9	1.6

問3-2. 宗教団体の方におたずねします。墓地利用者は、檀家（自宗派）に限定していますか。

	調査数	限定している	限定していない	無回答
全体	56	43	9	4
	100.0	76.8	16.1	7.1

問3-3. 墓地利用者のうち、福岡市内居住者の割合はおよそどのくらいですか。

	調査数	0 〜 10 %	1 1 〜 20 %	2 1 〜 30 %	3 1 〜 40 %	4 1 〜 50 %	5 1 〜 60 %	6 1 〜 70 %	7 1 〜 80 %	8 1 〜 90 %	9 1 〜 100 %	無回答
全体	62	9	5	4	-	3	2	5	13	13	3	5
	100.0	14.5	8.1	6.5	-	4.8	3.2	8.1	21.0	21.0	4.8	8.1

問3-4. 墓地は全部で何区画ありますか ※1区画以上所有する法人の平均値等

	調査数	合計区画	最小値	中央値	最大値
全体	55	78,715 1431.2	1	120	20,000

上段：合計値 下段平均値

調査数	無縁墓地区画
29	570 19.7

上段：合計値 下段平均値

調査数	未使用墓地区画
35	15,977 456.5

上段：合計値 下段平均値

調査数	合祀用墓地区画
37	3,842 103.8

上段：合計値 下段平均値

問3-4.1 無縁墓地の区画数

	調査数	ある	ない	無回答
全体	62	29 100.0	9 46.8	24 14.5

※1区画以上所有する法人の平均値等

調査数	無縁墓地区画	最小値	中央値	最大値
29	570 19.7	1	7	200

上段：合計値 下段平均値

問3-4.1 未使用墓地の区画数

	調査数	ある	ない	無回答
全体	62	35 100.0	7 56.5	20 11.3

※1区画以上所有する法人の平均値等

調査数	未使用墓地区画	最小値	中央値	最大値
35	15,977 456.5	1	36	5,000

上段：合計値 下段平均値

問3-4.1 合祀用墓地の区画数

	調査数	ある	ない	無回答
全体	62	37 100.0	6 59.7	19 9.7

※1区画以上所有する法人の平均値等

調査数	合祀用墓地区画	最小値	中央値	最大値
37	3,842 103.8	1	1	2,000

上段：合計値 下段平均値

問4. 墓地を新しく建設又は拡張する計画はありますか。

	調査数	ある	あるが規模は未定	ない	わからない	無回答
全体	206	4 100.0	8 1.9	159 3.9	17 77.2	18 8.3

※1区画以上所有する法人の平均値等

調査数	計画区画	最小値	中央値	最大値
3	11,000 3666.7	1,000	5,000	5,000

上段：合計値 下段平均値

問4-1. 墓地を新しく建設又は拡張する時期は、いつ頃を予定していますか。

	調査数	1年以内	1年超～3年以内	3年超～5年以内	5年超～10年以内	決めていない
全体	12	1 100.0	7 8.3	3 58.3	- 25.0	1 8.3

問4-2. 宗教団体の方におたずねします。墓地を新しく建設又は拡張とした場合、利用者は檀家（自宗派）に限定しますか。

	調査数	限定する	限定しない	わからない
全体	8	6	1	1
	100.0	75.0	12.5	12.5

問5. 貴団体所有の納骨堂はありますか。

	調査数	ある	ない	無回答
全体	206	185	20	1
	100.0	89.8	9.7	0.5

問5-1. 納骨堂利用者のうち、福岡市内居住者の割合はおよそどのくらいですか。

	調査数	0 ~ 1 0 %	1 ~ 2 0 %	2 ~ 3 0 %	3 ~ 4 0 %	4 ~ 5 0 %	5 ~ 6 0 %	6 ~ 7 0 %	7 ~ 8 0 %	8 ~ 9 0 %	9 ~ 1 0 0 %	無回答
全体	185	12	18	13	6	8	7	15	38	43	19	6
	100.0	6.5	9.7	7.0	3.2	4.3	3.8	8.1	20.5	23.2	10.3	3.2

問5-2. 納骨堂は全部で何壇ありますか。※1区画以上所有する法人の平均値等

	調査数	合計壇数	最小値	中央値	最大値
全体	181	93,758 518.0	1	250	22,804

上段：合計値 下段平均値

問5-3. 現在、未使用の壇数はいくつですか。

	調査数	ある	ない	無回答
全体	185	154	24	7
	100.0	83.2	13.0	3.8

※1区画以上所有する法人の平均値等

調査数	未使用壇数	最小値	中央値	最大値
154	17,748 115.2	1	28	5,449

上段：合計値 下段平均値

問6. 納骨堂を新しく建築又は増築する計画はありますか。

	調査数	ある	あるが規模は未定	ない	わからない	無回答
全体	206	8	32	124	41	1
	100.0	3.9	15.5	60.2	19.9	0.5

※1区画以上所有する法人の平均値等

調査数	計画壇数	最小値	中央値	最大値
8	2,917 364.6	58	139	1,757

上段：合計値 下段平均値

問6-1. 納骨堂を新しく建築又は増築する時期は、いつ頃を予定していますか。

	調査数	1年以内	1年超～3年以内	3年超～5年以内	5年超～10年以内	決めていない	無回答
全 体	40	7	7	6	2	17	1
	100.0	17.5	17.5	15.0	5.0	42.5	2.5

問6-2. 宗教団体の方におたずねします。納骨堂を新しく建築又は増築とした場合、利用者は檀家（自宗派）に限定しますか。

	調査数	限定する	限定しない	わからない	無回答
全 体	37	32	2	1	2
	100.0	86.5	5.4	2.7	5.4